

KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]

特集

Special

Kwansei Grand Challenge 2039

数字でみる関学
神戸三田キャンパス
通学手段の推移

突撃! KG CLUB
関西学院グリークラブ



2018.7.2
260号



学長のポケット

学長・村田 治

社会の変化に 対応できる能力を

今年の3月に「Kwansei Grand Challenge 2039」超長期ビジョン・長期戦略を策定しました。この策定にあたっては、2039年に世界や社会がどのように変化しているかという未来予測を行いました。その中で浮き彫りになったのが、18歳人口の減少、人工知能(AI)の発達、関西経済の地盤沈下です。この3つのうち、学生の皆さんの将来や大学教育のあり方に最も大きな影響を与えるのがAIの発達と考えられます。いくつかの研究によりますと、10~20年後には現存の業務(task)の20~50%がAIに取って替われ、また、2030年には自動化により労働者の約46%にあたる2700万人が転職を強いられるとの報告もあります。

皆さんは、このような変化に対応できる能力を大学時代に身に付けておかなばなりません。AIを活用して仕事をしていくために、まず、AIの仕組みと仕事への活かし方を知ることが極めて重要となります。次に、AIにはできない人間にしかできない仕事の領域や能力を追求していくことも求められます。具体的には、相手の主張を正確に理解し自分の主張を明確に伝え相手を説得するコミュニケーション能力、複雑に絡み合った現象から課題や問題を発見しチームで解決していく能力、困難から逃げずに立ち向かう能力などであると考えられます。AIの発達という大きな変化に備え、大学時代に自己を鍛えることを切に願います。

1	学長のポケット 表紙人
2	特集 Kwansei Grand Challenge 2039
9	ひとひと
11	Research & Research 教育学部 湊 秋作ゼミ 理工学部化学科 重藤 真介研究室
13	突撃!KG CLUB 関西学院グリークラブ
15	My favorite KG ナザリオ ラヤ アンジェラ エルミタさん (フィリピン) GO Global! 山口 真央さん(国際学部4年生)
16	数字でみる関学 神戸三田キャンパス 通学手段の推移
17	Moment
19	TALK DEEP ~LGBTについて考える~
25	Campus News 関学カプセル KGグルメ 学院通信
31	私に言わせて! 「政治リーダーとメディア」
32	世界の街角から ベトナム 室井 匡人さん
33	Libraring 1万タイトル以上のDVDを 活用しよう!!
34	聖書に聞く 社会学部宗教主事 打樋 啓史

表紙人

宮田 夏実さん

商学部3年生



4月から5月にかけて韓国昌原市で開かれた、聴覚に障がいがある人たちによるデフサッカーの「第4回アジア太平洋選手権大会」に日本代表として出場。全2試合で合計6点を

挙げて得点王となり、2020年の世界選手権出場権の獲得に大きく貢献した。

生まれつき難聴で、小学生の時にデフサッカーを始めた。中学3年生でデフサッカー日本代表に選ばれ、世界選手権やデフリンピックを経験。当時のことは「初めての国際大会はとても不安で、チームに付いていくことに精いっぱいだった」と振り返る。今は年下の選手が増えており、「先輩方が自分してくれたみたいに、積極的にコミュニケーションを取って、若い選手が思い切りプレーできるように心掛けている」とチームをけん引する。

デフサッカーに取り組みながら、大学では

体育会サッカー部女子チームに所属している。現在は、デフフットサルの日本代表入りも目指し、毎月の代表候補合宿に参加している。「大学の部活とデフの活動を両立できるのは、チームメイトのおかげ。難聴の私を受け入れてくれたこと、そして私の活動を理解してくれていることにも感謝しています」と話す。

「今の目標は、3年後のデフリンピックのサッカーでメダルを取ること、そしてデフフットサルでも日本代表に入ることです。活躍することで、もっと多くの人に聴覚障がいやデフスポーツについて知ってほしい」。高い志で努力を続ける。

特集
Special

Kwansei Grand Challenge 2039

関西学院は創立150周年を迎える2039年を見据え、超長期ビジョンと長期戦略から成る将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」を策定しました。高齢化の進展や人工知能(AI)の発達などで激変する世界において、関西学院のあるべき姿や、今の学生たちが取り組むべき課題とはどういったものなのか。村田治学長に聞きました。



Kwansei Grand Challenge 2039

Kwansei Grand Challenge 2039



2016年度
検討開始

2016年度
策定

2017年度
策定

01

関西学院 将来構想の 全体像



2018年度
策定
(学部・研究科
は2019年度)

2018年度
策定

—— 将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」が策定されました。そのポイントに特徴があるでしょうか。

「Kwansei Grand Challenge 2039」(以下、グランドチャレンジ)

は関西学院創立150周年となる2039年を見据えた超長期ビジョン(関西学院のありたい姿・あるべき姿)と、それを実現するための前半10年間(2018-2027)の方向性を示した長期戦略から成っています。これらの議論には丸2年を要しましたが、最初に2039年の世界・日本について「未来予測」を行って課題を抽出しました。今日はずっと前から学生の皆さんにお話をしたいと思えます。なぜなら2039年は現在19歳の学生が40歳の働き盛りの時期だからです。その時にどのような人生を送っているかは、今、大学

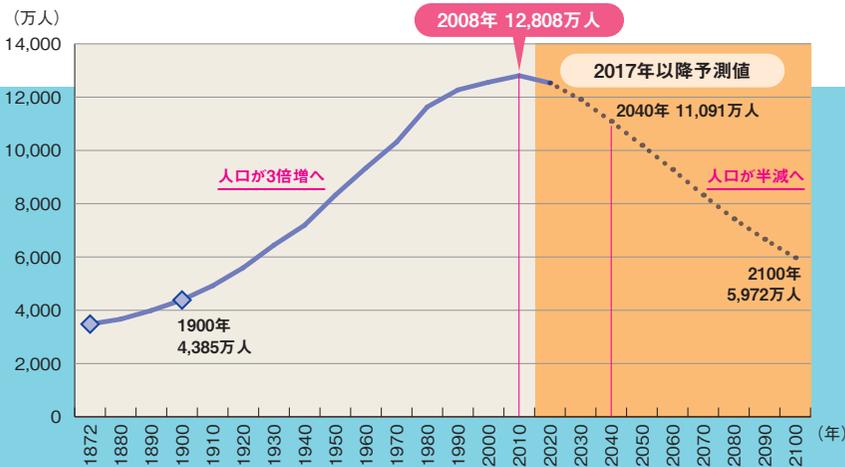
で何を学ぶか、学生時代に何を経験するかと大きく関係しています。未来の話のように実は皆さんの現在の話でもあるのです。(3ヶ所01)

—— 2039年の未来予測で分かったことは。

社会は大きく変化をしていきます。日本は、世界の先進国でも最初に超高齢社会に突入しました。今後少子化と高齢化、そして人口減少が進みます。現在の日本は平均年齢47歳、平均寿命(83歳)、高齢化社会へのスピードはいずれも世界一です。それに先だって生産年齢人口(15-65歳)が急速に減っています。過去100年と比較してまったく異なる局面に入ったのです。(4ヶ所02)

もう一つはICT(Information and Communication Technology and Communication Technology)の劇的な発達です。その最先端にあるのが人工知能





02 1872~2100年の 日本の人口動態

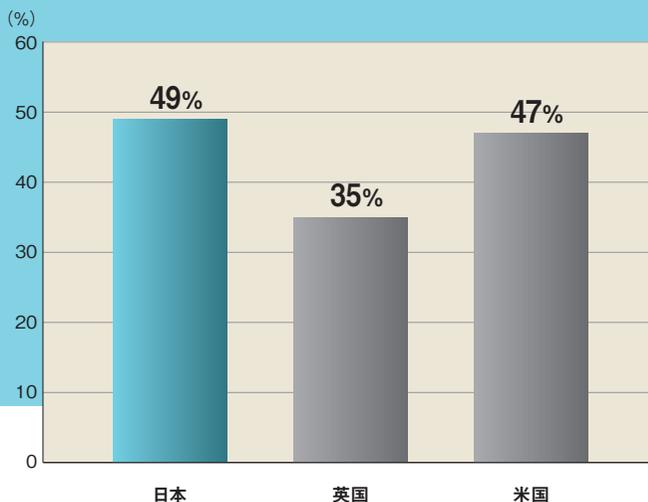
※1982~2016年までは総務省
※2017年以降は、国立社会保障・人口問題研究所HPより抜粋
参考表1 総人口、年齢3区分(0~14歳、15~64歳、65歳以上)
別人口及び年齢構造係数:出生中位(死亡中位)推計

03

人工知能やロボット等による 代替可能性が高い労働人口の割合 (日本、英国、米国の比較)

野村総合研究所は、英オックスフォード大学のマイケル A. オスボーン准教授およびカール・ベネディクト・フレイ博士との共同研究により、国内601種類の職業について、それぞれ人工知能やロボット等で代替される確率を試算しました。この結果、10~20年後に、日本の労働人口の約49%が就いている職業において、それらに代替することが可能との推計結果が得られています。

株式会社野村総合研究所ニュースリリースより



関西学院大学は2017年度、海外協定大学とのプログラムによる留学派遣数が1570人でした。卒業までにおおよそ4人に1人が留学を経験するということです。国際連携機構や各学部では合計すると約1000種のプログラムが用意されています。外国語研修の短期留学から中期留学、半年・1年の交換留学、さらには本学と海外大学の両方で学位を取得する「ダブルディグリー制度」、各学部の専門分野での交流プログラムなどです。海外に出ていくばかりでなく、関学大のキャンパスで海外からの留学生と一緒に学ぶ「融合プログラム」

日本のマーケットが縮まれば、企業はこれまで以上に海外の市場を目指さなければなりません。すでに企業の海外での売上の比率はどんどん高まってきています。だから、グローバル化はいや応なく進みます。皆さんは海外で仕事をするのが普通だと思っておいた方がいいでしょう。

人口減少は社会にどのような変化を起すのでしょうか。

「(A1)です。これから10年の間に定型的な仕事はA1がほとんど行っことになるでしょう。(4ページ)産業構造も人材需要も大きく変化していきます。では、人間はどんな仕事をしていくのか。他にもいろいろありますが、今日は皆さんに最も関係のあるこの2点についてお話しします。」

「学生が身に付けるべきことが変化してきているわけですね。」

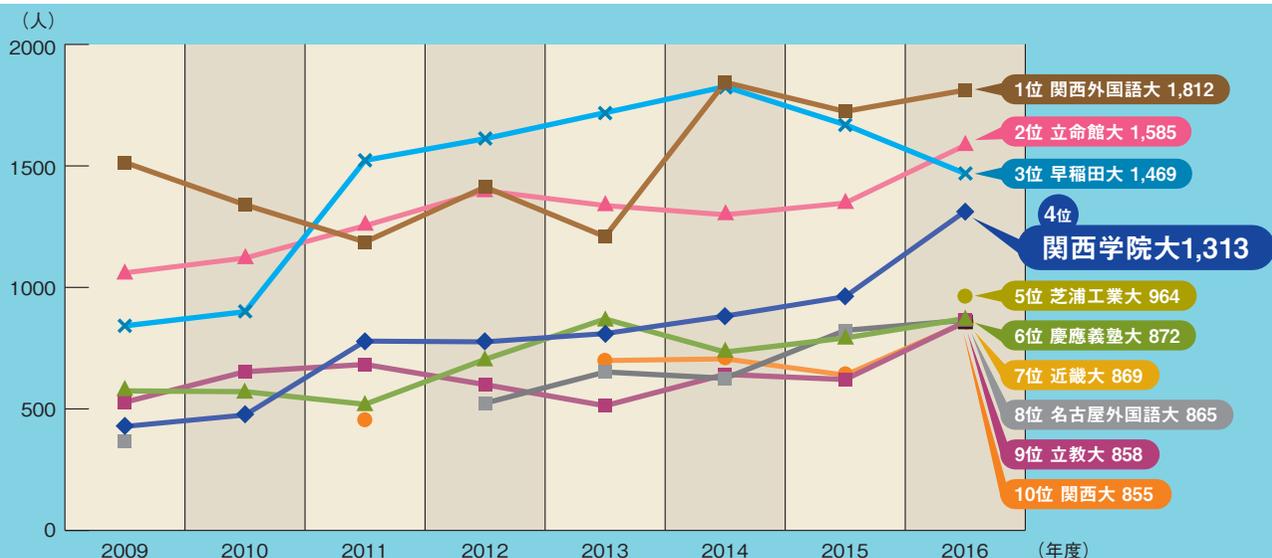
「社会が求めることが「知識から「能力」に変化してきています。そのため大」

「だから大学の教育内容も変わらなければなりません。本学は大手IT企業と共同でICT、AI、データサイエンスに関する最先端の知識・能力を身に付けるプログラムを来年から開講しようとしています。これは理系ではなく文系の学生を主な対象として考えています。文系の学生がAIリテラシーをしっかりと学ぶ全国で初めてのプログラムであり、現段階で最高のコンテンツを準備できた」と自負しています。」

「ICTやAIの発達はどのように産業を変えていくのでしょうか。」

「ICTやAIの進化によって人材需要も変化しています。メガバンク3行で3万人規模の人員削減が発表されています。未来の銀行には人による窓口業務はおそらくありません。あらゆる産業のあらゆる工程で自動化が進みます。これから10年、20年の間にICTやAIの知識が社会で活躍するための必要条件になると思います。」

協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学



※2017年度の関学大の派遣数は1,570人
 ※JASSO(日本学生支援機構)のHPより
 ※順位は国公立大含めてのもの

2030年の社会を生き抜くために必要な力

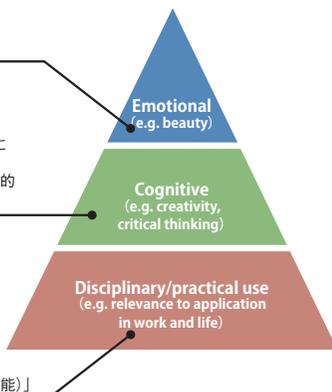
05

OECD「Education 2030」が示す「21世紀コンピテンシー」概念図

価値観を根底に、態度や資質、感情などから構成される「人格」「人間性」。例えば、美を感じる力など

下の知識・技能を発展的に生かすための「応用力」や「活用力」。創造性や論理的思考力などに代表される

様々な教科や領域・分野における「知識」と、それを仕事や生活の場面で「実践的に利用する力(技能)」



「第18回OECD/Japanセミナー」(2015年12月)のアンドレアス・シュライヤー氏(OECD教育局局長)基調講演資料より、2015年時点での議論に基づく概念図

学教育も大きな転換期を迎えています。知識の重要性は言うまでもありませんが、社会の変化が速くなって知識が陳腐化するスピードが上がっています。だから、常に知識を更新するための「学び続ける力・習慣」が重要になってきている。それ以外にも、論理的な思考力を前提として、知識を組み合わせる問題を発見・設定する能力、他者(さまざまな専門家や意見の異なる者)と協力して問題に取り組むコミュニケーション能力、チームワーク力が求められます。さらにそうした能力の上に、倫理観に基づく価値観や人間性こそが必要であることをOECD(経済協力開発機構)が「Education 2030」というプロジェクトで提示しています。(5頁図05)

皆さんには、関西学院大学に入ったからにはいろいろな挑戦をしてほしいと思います。Grand Challengeというのは関西学院としてのチャレンジを意味していますが、学生にとってのチャレンジでもあります。もちろん大学教育の中心にあるのは学部における専門分野の学びです。しかし、関学学生には同時にもう一つの挑戦をしてほしいと思っています。「ダブルチャレンジ」という制度がそれです。これは関学大が文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択された構想の中核にあるものです。(7頁図09)

海外留学を中心とした「インターナショナルプログラム」、社会での実践型

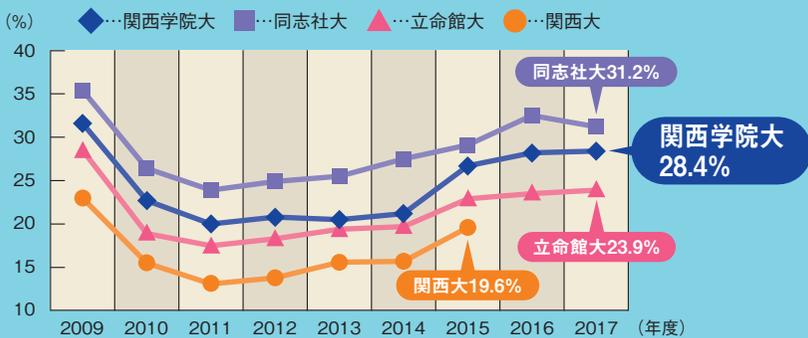
言われるまでもなく、これは1889(明治22)年に創設された関西学院の建学の精神である「キリスト教主義に基づく全人教育」そのものです。そうした知識・能力・資質を学生の皆さんはどのように身に付けるべきなのか。大学としてどうやってそれを実現させるのか。それがグランドチャレンジの中心命題です。2039年の未来予測としましたが、先ほどお話ししたように実はこれは現在の学生皆さんの問題でもあるのです。

—— 在學生はどのようにに学生時代を過ごしたらいいでしょうか。

07

有名企業400社の就職率の推移

〔サンデー毎日〕 2017年8月20-27日夏季合併号
 ※就職率(%)は、就職者数÷(卒業生数-大学院進学者数)×100で算出。※有名企業400社とは、日経平均株価指数の採用銘柄に加え、会社規模や知名度、大学生の人気企業ランキングなどを参考に大学通信が選定した企業。



08

社長の出身 一部上場企業

〔大学ランキング2019年度版〕 2018年4月20日発行

順位	大学	人
1	慶應義塾大	180
2	東京大	152
3	早稲田大	123
4	京都大	74
5	中央大	50
6	大阪大	43
7	明治大	43
8	日本大	42
9	関西学院大	37
10	同志社大	32
11	法政大	32
12	東北大	31
13	青山学院大	31
14	関西大	30
15	一橋大	28

A 2017年度の就職率99.2%は全国の大学で3位、卒業・修了者5,000人以上の大学では5年連続1位です。内定企業への満足度も「大変満足」「満足」で90%を超えます。キャリアセンターが全力で一人ひとりの就職活動を支援していることも大きいですが、これは大学教育全体の結果でもあります。

06

有名企業に強い大学ランキング

順位	大学名	所在地	2017年	2016年	2015年
1	△一橋大	東京	58.9	62.6	57.9
2	△東京工業大	東京	56.1	54.9	53.9
3	◎慶應義塾大	東京	46.5	46.9	46.4
4	◎上智大	東京	38.3	33.8	32.6
5	◎早稲田大	東京	37.3	37.4	36.1
6	△電気通信大	東京	36.0	36.1	37.4
7	△大阪大	大阪	35.5	35.4	35.5
8	△東京外国語大	東京	35.2	36.4	35.4
9	◎東京理科大	東京	34.6	35.0	31.8
10	△名古屋大	愛知	34.3	35.7	32.0
11	△横浜国立大	神奈川	34.2	28.9	23.7
12	△京都大	京都	32.4	32.5	31.8
13	◎同志社大	京都	31.2	32.5	29.1
14	◎東京女子大	東京	30.8	33.8	29.8
15	◎学習院大	東京	30.6	27.8	29.7
16	◎芝浦工業大	東京	30.5	28.3	23.8
17	△東京農工大	東京	29.5	30.9	28.4
18	◎青山学院大	東京	29.0	29.8	27.3
19	◎津田塾大	東京	28.8	29.2	28.2
20	◎関西学院大	兵庫	28.4	28.2	26.7
21	◎明治大	東京	28.2	26.7	24.1
22	◎日本女子大	東京	28.0	31.4	29.1
23	△神戸大	兵庫	27.9	27.9	26.0
24	◎立教大	東京	27.6	28.3	28.1
25	△九州大	福岡	27.0	25.2	24.9
26	△東北大	宮城	24.7	29.6	26.9
27	大阪府立大	大阪	24.5	25.0	24.5
28	◎立命館大	京都	23.9	23.5	22.9
29	△北海道大	北海道	23.8	24.1	21.8
30	◎中央大	東京	23.7	23.3	22.0

△印は国立、◎は私立、無印は公立。

「**グランドチャレンジには「質の高い就労」が主たる目標に掲げられています。**」

関西学院大は就職について極めて高い実績を誇っています。(6ページ)A株式会社大学通信のデータに基づいてサンデー毎日が出している「有名400社への実就職率」でも総合私立大学では最上位のグループにいたることが分かります。(6ページ)06、07また、卒業生に上場企業の社長が多いことも大きな特長です。「大学ランキング2019年度版」で見ると関関同立でも最も多いのです。(6ページ)08これは取締役の人数で調べても同じです。卒業生の数は一番少ないことを考えれば、関学大がいかに経済界に有為な人材を数多く送り出しているかが分かります。社会学の祖であるマックス・

ウェーバーは「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」という最も有名な著書の中でプロテスタントの禁欲的な行動原理(エートス)が資本主義を勃興させる大きな要因になったと分析しました。プロテスタントの特徴は職業を通じて社会に貢献することを自らの使命と考えたことであり、関西学院はプロテスタントの宣教師、W・R・ランバース博士がキリスト教主義教育のために創設した学校です。

関西学院大学に入学した人たちは大学の中で自らを鍛え、自分の目指す就職や進路に進んで「質の高い就労」を実現し、世界・隣人・社会に貢献する。そういう「真に豊かな人生」を送ってほしい。そのために本学が存在するわけです。

本学のリーダーになる人間には倫理観や価値観、人間性が求められます。人が物事を判断する上での根本的な基準の体系こそが価値観です。そうしたものは授業を受けたり、本を読んだりしただけで簡単に身に付くものではありません。人と人とのつながりの中でもまれて悩み、自分の頭で考え抜いて構築するものです。関西学院という思想と環境がそうしたリーダーたちを多く輩出してきたのです。

——長期戦略には「正課外教育の推進」も掲げられています。

先ほど、大学教育の目的が「知識の習得」から「能力の獲得」へと大きな転換

異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」で、
全学生が「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深める

アウェイチャレンジ

インターナショナルプログラム

「母国を出て、世界を知る」

留学プログラム

- ▶ 交換留学
- ▶ 英語中期留学
- ▶ 外国語研修(英語、中国語、朝鮮語、スペイン語)
- ▶ ダブルディグリー留学【神学部】
- ▶ 海外理工学プログラム(Summer Program)【理工学部】など

融合プログラム

- ▶ CCC Global Internship in Japan
- ▶ 総合日本学習科目(日本研究セミナー)
- ▶ 東アジア文化交流セミナー【文学部】
- ▶ 比較社会演習【社会学部】
- ▶ 海外学習活動(日中共同学術フォーラム)【経済学部】など

国際ボランティア・フィールドスタディプログラム

- ▶ 国連ユースボランティア
- ▶ 国際社会貢献活動
- ▶ 社会起業フィールドワーク【人間福祉学部】
- ▶ 海外ボランティア実習【教育学部】
- ▶ EUフィールド・スタディー【国際学部】など

ホーム
チャレンジ
(各学部・専攻での学び)

アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

「学部を出て、他分野を学ぶ」

副専攻プログラム

- ▶ 国連・外交プログラム
- ▶ 各学部、言語教育センター提供複数分野専攻制プログラム
- ▶ 社会調査士【社会学部・総合政策学部】
- ▶ 建築士プログラム【総合政策学部】など

アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・プログラム(実践型学習)

「学校を出て、実社会を経験する」

ハンズオン・ラーニング・プログラム

- ▶ 平和学特別演習「ヒロシマ」
- ▶ 社会探究実習(朝来・竹田城下町活性化PJ)
- ▶ PBL特別演習(福島から原発を考える)
- ▶ 議員インターンシップ実習【法学部】
- ▶ ビジネスプロジェクト【商学部】など

09

Home-and-awayで学ぶ
「ダブルチャレンジ制度」

をし始めているということ、さらには倫理観、価値観、人間性といった資質を育むこともお話ししました。こうした観点から大学教育を見直すと、正課の教育だけでなく、スポーツ・文化・芸術活動のクラブ活動等も重要な教育的価値を持つていくことが明確です。高等教育論の研究者たちの間でもそうした研究が進んでいます。例えば私の担当する「マクロ経済学」ではリーダーシップやチームワークは身に付きませんが、このような資質はクラブの活動や組織運営において目標に向かって切磋琢磨しながらお互いに激しく議論を交わす過程でこそ身に付ける「経験知」でしょう。そのことは学生の皆さんが自覚しているはず。

例えば先ほど紹介した有名400社の就職率で見ると、一般学生の比率も28%と非常に高いのですが、さらに体育会の学生は約40%、その中でも例えばアメリカンフットボール部は部員が2000人を超すにもかかわらず70%近い比率となっています。

そうした課外活動がこれまで学生の自主活動として歴史を重ねてきたことを尊重しつつ、大学としての教育プログラムとしても充実させていくことを考えています。

—— 関西学院全体として取り組む必要がありますね。

現在、関西学院は幼稚園、初等部、中学部、高等部、千里国際中等部、千里国

際高等部、大阪インターナショナルスクールの、聖和短大、関学大の九つの学校によつて構成されています。継続校の啓明学院からもほとんどの生徒が関学大に進学します。まさしく「総合学園」であり、初等部から大学卒業まで最長16年間の一貫教育になっています。各学校で相互の連携を強め、一貫教育だからこそその強みを生かした教育によつて前述したことを実現したいですね。

—— 学生に改めて一言。

学生の皆さんには、未来の日本、未来の世界を築くという大きな志、夢、使命感を育んでほしい。

関学大には学ぼうと思えば多様なプログラムが用意されています。例えば、国連・外交コースというプログラムが大学の副専攻プログラムとして2017年度に開設されました。全て授業は英語です。センター長で元駐ドイツ大使の神余隆博教授や国連元職員の方々が外務省や国連と協力して、日本の大学から国連・国際機関の職員を輩出しようとしています。これも日本では関学大だけです。国際公共分野でグローバルリーダーを育てるといことは言うまでもなく関西学院のミッションの延長線上にあります。

本学にはさまざまなチャンスが広がっています。聖書には「求めよ、さらば与えられん。探せば、さらば見つからん。叩けば、さらば開かれん」(「新約聖書」マタイ

10 長期戦略の全体像と主たる目標

建学の精神 キリスト教主義に基づく全人教育

ミッション “Mastery for Service”を体現する世界市民の育成

長期戦略の主たる目標

卒業後の成果

真に豊かな人生

「強さと品位」を備えた卒業生が、さまざまな分野で活躍し、隣人・社会・世界に貢献する

卒業段階での成果

質の高い就労

学生が自ら希望する最適な進路(就職・進学等)へ踏み出す

学生の質の保証

「学生の質」に対する社会の信頼を高める

在籍時の成果

学修成果の修得

学生が身に付けるべき学修成果を厳格に評価する

総合学園と一貫教育

学士課程教育

大学院教育

研究

共通テーマ

国際化

特長ある一貫教育の創出

国際化の推進

アイデンティティの共有

内部進学者の増加

（総合学園）の枠組み再構築

学修成果の把握・評価

教育の長期的成果の検証

カリキュラムの基本構造の改革

柔軟な学位プログラムの検討

教育分野の再編

国際化の推進

国連等との連携強化

正課外教育の推進

教員個人組織の教育力向上

ICTによる教育・学修支援

対面的なコミュニケーションの促進

学修支援の充実

学生生活支援の充実

多様性と学力の担保(受入)

研究者の輩出

理系研究室の充実

高度職人の養成

自出身研究者比率の増加

個別研究の活性化

研究プランの確立

共通テーマ

産官学連携

KSCでのイノベーション推進

学校経営

財政

積極的な投資と強固な財政基盤の確立
新規事業の財源確保

人事

人事政策の確立(教員)
人事政策の確立(職員)

建設

施設建設・設備整備計画

情報化

革新的な情報環境の構築

マネジメント

Evidence-based Managementの推進
二つのPDCAサイクルの統合

ガバナンス改革の継続

ブランド構築

地域に密着したキャンパス

学生規模

卒業生との連携



くによる福音書」とあります。主体的に自ら一歩目を踏み出すかどうか、実は人生の大きな分かれ目です。関学生の皆さんには、勇気を持って自ら挑戦し、自らの人生を築き上げてほしい。大学の教員・職員もそれを支援するだけでなく、新しい関学大を創りだすために挑戦をしていきます。その両方によって関西学院大学という母校が一層輝くのだと思います。

グランドチャレンジの最上位の目標は、学生の皆さんが卒業後に「真に豊かな人生」を送ることにあります。豊かさは、人生の目標を持ち、仕事に高い意欲で取り組み、よき人間関係の中で暮らしており、その前提として、安定した収入があり、心身ともに健康である。そして何よりも、スクールモットーである「Mastery for Service(奉仕のための練達)」を体現している。これは、関西学院のミッション(使命)です。本学に学ぶ人は、C・J・L・ベーン初代学長が1915年に書いた歴史的な文章「Our College Motto, "Mastery for Service"」を必ず読んでほしいと思います。世界・隣人・社会に奉仕するためにこそ自らを鍛えよ。社会に貢献するためには、有能で強くなければならない。仕事(ビジネス)を成功させる能力を磨け、と当時の高等学部(大学の前身)商科の学生(当時は男子校)に訴えています。関西学院の同窓生はみんなこのスクールモットーを共有しています。これほどモットーを大切にしている大学は他にありません。これが本学の価値そのものです。だから皆さんはこのモットーをよく理解し、人生をかけてよく咀嚼してほしいと思います。今はあまり実感できなくても、社会に出てこのモットーを人生の支えにする日が来ます。



松浦 楓さん

総合政策学部4年生

学校の異なる4人のダンスユニット 大学生限定の全国大会で頂点に

3

月11日に大阪市内で開かれた大学生限定のダンス全国大会「DANCE SUMMIT Vol.10」に、他大学の3人と共に4人組の「パワーパワーズ」として出場し、約450チームの頂点に輝いた。

小さい頃からダンスに親しんできた。今は1対1で競う「ダンスバトル」が中心だが「大学生のうちしかできないことに挑戦したい」と昨春からチームづくりを始め、勝つために技術の高いメンバーを、友人と集めた。ただ、東京在住のメンバーもいて、「全員で練習する機会が数回しかなく苦労した」と言う。メッセジャープリを通して音楽や振り付けを考え、各地の大会に出ながらダンスを作り上げた。

「自分たちの実力を測るため」と2月に出場した東京の大会では敗退。「このままでは勝てない」と友人や指導を受けてきた先生にアドバイスをもらって細かな修正を重ねた。その2週間後に出場した大阪の大会で優勝し、「自信を持って決勝を迎えることができた」と振り返る。

今回の優勝について、「プレッシャーを感じることも多かったけれど、決勝のステージは純粹に楽しめたい。いろいろな人に協力してもらったし、このチームでの最後のダンスだったので、良い結果で終わることができてほっとした」と話す。今後については「できる限りダンスは続けていきたい。学生のうちにもう一つくらい大きな結果を残して、次に進みたい」と意気込んでいる。



気軽に楽しみながら手話を覚えて 円滑なコミュニケーションを

ラ

ンチを取りながら手話を覚える「もぐもぐ手話タイム」は、神戸三田キャンパスで学生が中心となって週1回開催。その代表を務める。

聴覚に障がいがあり手話をコミュニケーション手段としてきたため、入学当初から多くの人に手話を知ってほしいと思っていた。その気持ちを先輩に話したところ、休止状態だった「もぐもぐ手話タイム」の存在を知る。名称を継承しつつ内容を一新し、仲間を募った。現在、メンバーは約10人。ほぼ全員が手話の初心者だ。

「初心者に初めから手話を覚えてもらうのは難しいので、オリジナルのゲームを考えて、体を動かしながら、気軽に楽しみながら覚えてもらいます。一番の目

的は会話。体を動かして覚えることで、コミュニケーションを高めたいです」

「Eco-Global関西学院にも所属し、昨夏の2週間、フリップで家を持つことが困難な人たちのために現地の人と協力して家を建設した。英語の口話でコミュニケーションを取ったが、慣れていないため意思疎通を図るのが難しかったという。現在は英語の手話も勉強している。

「もぐもぐ手話タイムのメンバーは全員ノートテイカー。今後はそうでない人たちにも手話に関心を持ってもらえるよう活動したい。卒業後は、障がいがある人が気軽に海外でボランティアや勉強に取り組めるような手助けをする仕事がしたい」と話している。

濱松 晃大さん

総合政策学部2年生

今井 咲希さん

社会学部3年生

川飛 美翔さん

商学部3年生

お城の女王として外国人や若者など
多くの人に姫路の魅力を発信

「姫路ふるさと大使」として姫路市の魅力を発信する第51代「姫路お城の女王」に選ばれた。任期は1年間で、各地のイベントに参加して市の歴史や魅力を伝えていく。「伝統ある仕事、活動を通して多くの人に姫路の魅力を伝えていきたい」と口をそろえる。

将来は実家の日本料理店を継ぎたいと話す川飛さんは、「姫路の食材や地酒を多くの人に知ってもらいたい」と応募を決めた。今冬に姫路市内の神社で福娘を務めた今井さんは、「地元の人々の温かさを感じて、姫路にもっと深く関わりたいと思った」と言う。

応募者26人の中から、書類審査や面接などを経て内定を得た。今井さんは面接で、特技のフラダンスを披

露。「緊張したけど、笑っていただけで空気が和んだと思う」と振り返る。その後、2カ月間の研修で姫路に関する知識や歴史、マナー、振る舞いなどについて学び、5月に開かれた「姫路お城まつり」でデビューした。「予想していたより多くの人が来てくださり、テレビやラジオの生放送もあつて驚いた」と話す。

今後の活動について、川飛さんは「語学力を生かして、海外からの観光客をターゲットに、まだ知られていない姫路の魅力を広く伝えていきたい」、今井さんは「お城や特産物はもちろん、歴史や街並み、また、それを引き継いでいくとする地域の雰囲気や一体感を若い人に伝えていきたい」と笑顔で話す。

今井さん(左)と川飛さん

アフリカの女性の気持ちに寄り添う
ウォークイベントにゼミで参画

大 阪・服部緑地公園で5月に開かれたチャリティウォークイベント「歩く国際協力『Walk, Eat, Shoes』」(公益財団法人ケアインターナショナルジャパン主催の企画運営)、武田丈人間福祉学部教授のゼミで携わり、ゼミ代表学生として活動をまとめた。

参加者は当日、アフリカの女性や女子が安全な水を求めて毎日歩かなければならない距離と同じ6キロを歩き、青木さんらは、参加者と一緒歩いたり、休憩地点でのクイズや水のろ過体験など、水の大切さを理解してもらおうためのアクティビティを実施した。「参加者には小学生も多く、実際に自分で作り、目で見て体感できる、ろ過体験をして良

かった。同じ年齢くらいの女の子が水をくむために毎日歩いている現実を、今は理解できなくても大きく変わった時に思い出してくれればいい」と振り返る。

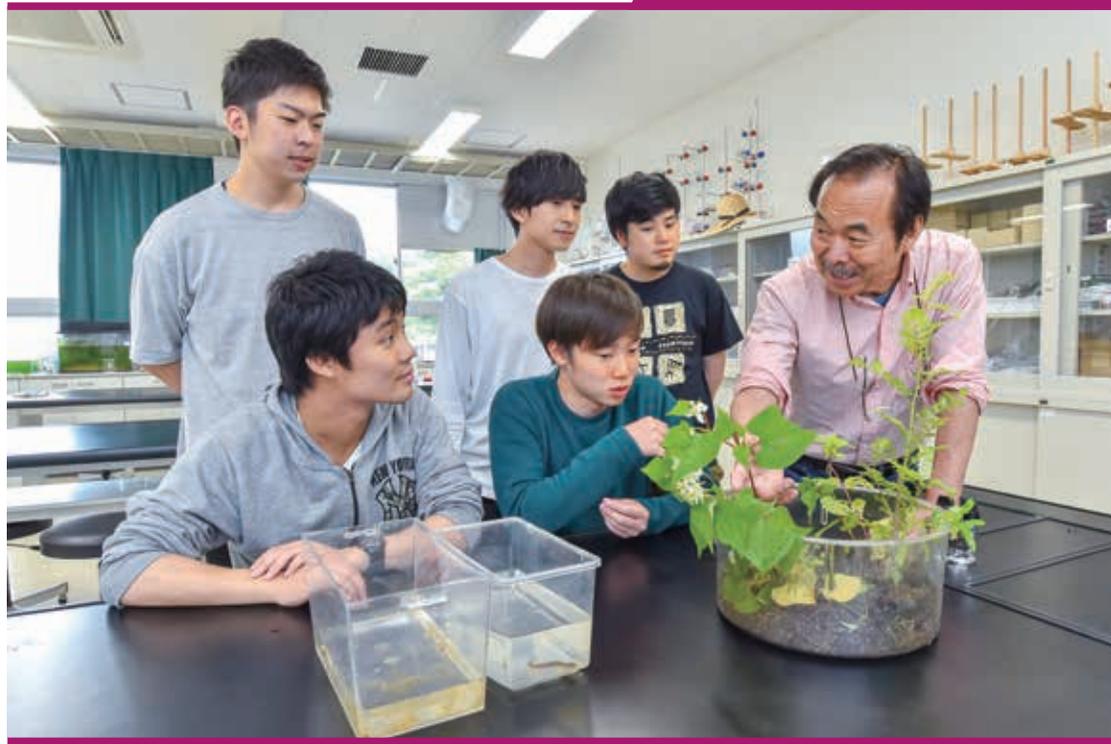
アジア人女性の支援にも興味があり、現在は、同人間福祉学部を卒業した黒田尚子さんが開いた、アジア人女性の就労支援を行うレストラン「神戸アジア食堂BAR S.A.L.A」のプロモーション活動に力を入れている。「アルバイトとしてもさまざまなことを学ばせてもらった。大好きなこの店に恩返しをしたい。SNSなどでの発信や、周りのお店を巻き込むことなど、大学生ならではの支援の方法を探っていければ」と笑顔を見せる。

青木 七海さん

人間福祉学部3年生



地球社会への応用を視野に
ヤマネの生態の仕組みを解明



湊 秋作 教授

までには2500万⁺増設されます。それで建設会社等と共働でヤマネ等の樹上動物のための歩道橋「アマリスウエー」を開発し、今、国内で8カ所イギリスで二つと普及してきました。ヤマネの冬眠生理を宇宙旅行に应用する基礎研究も行っています。

玉

の天然記念物に指定されているヤマネと、環境教育保全SDGs・生物多様性理科教育について研究しています。約5000万年前にヨーロッパに生息していたヤマネを起源に持つ「ホンヤマネは、約510万年前から日本列島に生息する「生きた化石」です。

私の海外での主なフィールドはハンガリー。ハンガリーのヤマネは3種類、日本のヤマネは1種類です。日本とハンガリーのヤマネの栄養段階や生活史を比較し、日本のヤマネの生態形態、行動生理を調べています。

研究成果を人間と地球社会との共生に活用することを目指しています。例えば、人にとって必須の道路は生物の生息地を分断し、動物たちの繁殖、餌場、休み場所を乱し、遺伝子にまで影響を及ぼし、命をも奪うことがあります。今、地球には6400万⁺の道路が敷設されていますが、2050年

までに2500万⁺増設されます。それで建設会社等と共働でヤマネ等の樹上動物のための歩道橋「アマリスウエー」を開発し、今、国内で8カ所イギリスで二つと普及してきました。ヤマネの冬眠生理を宇宙旅行に应用する基礎研究も行っています。

また、子どもたちには環境教育が重要だと考えています。日本の調査地である島根県の隠岐島と三重県尾鷲市の小学校の子どもたちに出前授業をしています。一緒にフィールドへ行き、巣箱の中にいる生き物を調べたり、日本の離島ではなぜ隠岐島だけにヤマネがいるのかなどを彼らに問い掛けたりします。科学は疑問を持つことが大切です。子どもたちには自ら「なぜ？」を引き出し、それを総合的に調べることを身に付けてほしいです。

ゼミの学生たちには、吸収する力と広い視野を伸ばしてほしいと思っています。院生学生たちとSBEIP(聖和のS、生物多様性のB、教育のE、プロジェクトのP)を始めています。生き物は子ども幼児の感性・科学性を伸ばす、いきもの先生、なので、チヨウ館場、休み場所を乱し、遺伝子にまで影響を及ぼし、命をも奪うことがあります。今、地球には6400万⁺の道路が敷設されていますが、2050年

までに2500万⁺増設されます。それで建設会社等と共働でヤマネ等の樹上動物のための歩道橋「アマリスウエー」を開発し、今、国内で8カ所イギリスで二つと普及してきました。ヤマネの冬眠生理を宇宙旅行に应用する基礎研究も行っています。

（小学校におけるビオトープの有用性を調査）

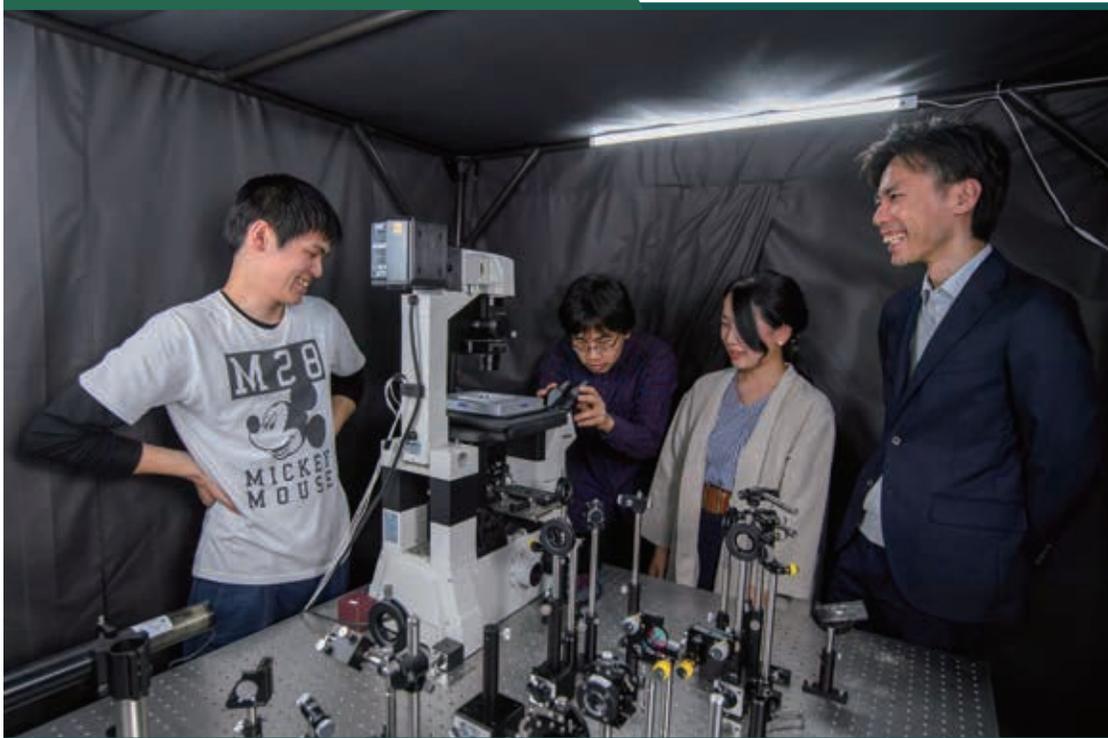


大河内 友翔さん
教育学研究科M2年生

小学校の先生になりたいと教育学部に入りましたが、将来自分は子どもたちに何を教えた方がいいか悩んだ時期がありました。そんな時、2年生時に受けた湊先生の授業で環境教育を学んだことで、定まらなかつた思考がまとまり、もつと環境教育を学びたいと湊ゼミを選びました。

学部時代からビオトープの研究をしており、西宮市内の小学校8校で調査しています。ビオトープは都市部を自然豊かにするために至る所で設置が推進されています。当初は現場の先生から「管理が難しい」「活用方法が分からない」という声がありましたが、調査を進めるうちに自生する植物や生息している生き物が判明し、小学校においてビオトープが有用であることが分かってきました。卒業後は小学校の先生になり、ビオトープを活用しながら子どもたちに環境教育をし、湊先生のように研究も続けたいと考えています。

分光法で「分子からの手紙」を解読し 構造や働きを明らかに



重藤 真介 准教授

学生たちに求めることは、まず研究を楽しむこと。そして、答えのない問題に対して取り組むことで、問題解決能力を身に付けてほしいと願っています。研究は、今まで誰もしていないことに取り組むので、うまくいかないことも多いのですが、その中で自分なりに考えて一歩ずつ前に進んでほしいと思います。

私 たちの身の回りの物質 につなぐられます。その仕組みが 解明できれば、カビが広がるこ との防止や、ペニシリンなどのカ ビから得られる有用物質のよ り容易な生産などの応用につ ながっていくと考えています。

分光法は、光を当てるだけな ので、研究対象の物質を壊す や振る舞い、その働きについて 必要がありません。この利点を 明らかにしたいと考えています。

振動している分子による散 乱光から得られる情報は「ラマ ンスペクトル」といい、それは「分 子からの手紙」とも呼ばれます。 この「手紙」を解読することで、 分子がどのような状況にある かを詳しく知ることができま す。最近の研究の身近な例の一 つがカビです。カビは、糸状に範 囲を広げていくのですが、その 中にあるタンパク質やDNAな どの生体分子を追跡すること は、カビが広がる仕組みの解明

（ナノ制限空間にある水の性質を理解する）



戸田 尚吾さん
理工学研究科D1年生

ナノメートルサイズの空間（ナノ制限空間）にある水を対象に研究しています。水は制限空間にあるときと、大量の水として存在するときでは、その性質が大きく異なります。「逆ミセル」という、水が制限空間にある状態をつくり出し、そこに電場をかけることで分子の応答を観測しています。これは、体内の生体分子であるタンパク質やアミノ酸などの近くに存在している水つまり、生体分子の周囲の環境について知ることにつながります。

他にも、太陽電池や微生物燃料電池といった次世代電池の研究に興味があります。最近では、有機物と無機物を組み合わせた太陽電池の高い変換効率が目立っていますが、発電のメカニズムは詳しく解明されていません。そのメカニズムを研究、解明していくことで、次世代電池のさらなる改良につながっていくと考えています。

このコーナーでは、KGB 総部放送局が記事と映像で、部活動に励む関学生のイキイキとした姿をお届けします!



突撃! KG CLUB *by KGB*

(関西学院グリークラブ)

関西学院グリークラブは関西学院大学の創立から10年後の1899年に発足し、活動を続けている歴史ある部活動です。4パートに分かれ、男声合唱ならではの重厚で繊細なハーモニーを生かして、全日本合唱コンクールで8年連続金賞を受賞。今春には、関西学院 ウィメンズ・グリークラブも発足し、さらに盛り上がりを見せています。

練習日

火・水・木曜 / 18時
~21時

土曜 / 10時~17時

練習場所

グリークラブホール



今春に発足した関西学院 ウィメンズ・グリークラブ

取材レポート

約100人の部員が、「日本一」という高い目標を持って練習しています。歌はもちろんのこと、部員の皆さんの魅力にも迫りました。

動画もCHECK!

↓映像はこちらから



インタビュー



▶部長 林 浩平さん(経済学部3年生)

Q.一言で言うと、どんな部活ですか。

「メンタルハーモニー」という、部員の精神や行動などを一致させよう、メンタルまで統一させようというクラブモットーがあります。

▶指揮者 石川 龍太さん(社会学部3年生)

Q.練習で力を入れている部分は。

特に音取りが一番重要だと思っています。音取りが間違っていると、もとあったハーモニーが再現されなくなったりするので、気を付けて音を取るようになっています。



▶マネジャー 佐藤 美優さん(社会学部3年生)

Q.グリークラブに所属していて良かったことは。

北九州で演奏会有り、私の地元だったので初めて親と一緒に演奏を聴くことができました。妹も「すごかった」と言ってくれたのがうれしかったです。



KGB総部放送局

関西学院大学で唯一の放送団体。アナウンス、ドラマ、技術、制作、報道の5パートに分かれ、昼休みの放送、番組制作、イベント音響などさまざまな活動を行っています!興味のある人はTwitter、ホームページをご覧ください!

HP→<http://www.everyday-kgb.com>
Facebook→<https://m.facebook.com/KGBBroadcast>
Twitter→<https://twitter.com/KGBbroadcast>



Pop Cultureの授業で日本人学生と議論

— 関西学院大学を選んだ理由は。

東アジアを中心とした国際関係論を専攻しています。日本のことが面白いと思い、日本語を勉強することにしました。関学の現代日本プログラムや美しいキャンパスを知って、留学先として私にぴったりかなと思いました。それに、学校のモットーも似ています。アテネオ・デ・マニラ大学のモットーは“Man for Others”です。“Mastery for Service”と同じように、勉強は自己向上のためだけでなく、他の人に貢献するためのものでもあるということです。

— 以前に来日したことは。

フィリピンはそんなに遠くないので、今回が3回目です。高校の時に2週間の留学を経験しました。昨年は家族旅行で来ましたが、今回は私一人なので、好きなように日本を楽しんでいます。

— ホームステイはどうですか。

最高のホストファミリーだと思います。日本人のイメージに多い「シャイで静か」という雰囲気ではな

く、少し「クレイジー」な部分もあり、彼らのそんなところが好きです(笑)。とても寛大な家族で、私に自転車を買ってくださった時は本当に驚きました。“What???”という感じでしたね。

— 今一番面白い授業は。

日本語の授業はもちろんですが、「Pop Culture」の授業はとても面白いですね。英語を話す場として、この授業を受けている日本人学生も多いようで、グループディスカッションでは彼らと話す機会が多いです。「かわいい」の文化や、アイドルの存在などについて議論しています。「浅い」とか「軽い」と思われる話題かもしれませんが、実は、とても学術的な面を持っています。

— 留学を考えている学生にアドバイスを。

授業のスケジュールは、慎重に計画した方がいいですね。単位が取れるように、プログラムの内容をきちんと確認しなければいけません。ただ、他の大学に入っている友達に比べると、関学ではCIECが全面的にサポートしてくれるので、とてもありがたいです。

— 関学で学んだことをどう生かしたいですか。

将来は、フィリピンと日本の関係を強めるために政府の機関か領事館、あるいは



↑東京観光で

NGOで働きたいです。日本文化に接したことで、そのような仕事に欠かせない感覚を養うことができました。ここで学んだ日本語は、どんな分野に行っても生かせると思います。

— 好きな日本語は。

「やばっ!」です。日本人の友達みんな言いますね(笑)。



Go Global!

多様性あふれる空間で 人生で一番勉強した時間



ヨーロッパ大陸

交換留学(オスロ大学) 山口 真央さん(国際学部4年生) 派遣国 ▶ ノルウェー

3年生の時に約1年間、ノルウェーのオスロ大学に留学しました。ノルウェーを留学先を選んだ理由は、日本との社会福祉の違いに興味があったからです。日本の医療費や学費はとても高額ですが、ノルウェーではほぼ無償です。この違いについて学ぼうと、現地では政治学や社会福祉学、ジェンダー平等学を中心に勉強しました。ノルウェーは、育児制度が整っており、母親・父親ともに育児休暇を取らなければならない期間が決まっています。住んでいた寮の近くの湖では、平日でも父親がベビーカーを押している



↑寮裏のVettakkollenという山にノルウェー人の友達と登山(左が山口さん)

のをよく見掛け、日本との違いを感じるとともにすてきに思いました。

大学での勉強は苦勞しました。一つの講義につき週に100~120ページの予習リーディングがあり、内容も専門的な英語ばかりで大変な時間と集中力が

必要でした。私は、一学期に4講義を受講するのが精いっぱいでした。学期間に数回あるプレゼンテーションやディスカッション、A4用紙12枚の中間レポートなども良い経験になりました。期末試験は、記述形式2問だけの4~6時間の試験

↓現地に遊びに来てくれた家族と一緒に見たオーロラ



で、レポート用紙10枚以上で回答しました。人生で一番勉強した期間だと思えますが、学びたいことを専門的に深く学ぶことができました。

住んでいた寮には、世界中から学生が集まっていて「ダイバーシティ」があふれていました。互いの違いを知り、尊重することの大切さを学びました。来年春から社会人になりますが、これまで以上に多くのダイバーシティに出会うと思います。多様な人と考えがあることを理解しながら、私らしさも一つのダイバーシティだと思って活躍できればと思います。

数字でみる 関学

現在、5,500人以上が学ぶ神戸三田キャンパス。学生はどのような手段で通学しているのでしょうか。この10年間の推移を調べました。

神戸三田キャンパス 通学手段の推移

※神戸三田キャンパスは自動車通学が可能(事前に申請手続きが必要)

自動車通学 許可者数

(人)
1,000,000
800,000
600,000
400,000



バス乗車人数(延べ) 三田線・新三田線・三宮線

(人)
1,500
1,000
500
0

学生数
(学部、大学院)

(年度)



この10年間で学生数が約1,500人増え、バス乗車人数は延べ約42万人増えて約87万人となり、大幅に増加しています。一方、自動車通学の許可者数は2009年度をピークに減少傾向。バス通学を選ぶ学生が増えていると推測されます。「若者の自動車離れ」が言われて久しいですが、通学的手段にも何かしら影響しているのかもしれない。





新月池の四季
(西宮上ヶ原キャンパス)

自分らしく輝ける キャンパスに!

毎号テーマを変え、関西学院大学での学びや取り組み、研究成果などを座談会形式で紹介します。今回のテーマは「LGBTについて考える」。LGBTを取り巻く現状や課題、関西学院の取り組み、私たちが心掛けるべきことについて話していただきました。

「LGBTについて考える」

TALK DEEP

LGBT

「レズビアン」「ゲイ」「バイセクシュアル」「トランスジェンダー」の頭文字で、同性愛者、両性愛者、性同一性障害を含むトランスジェンダー等、セクシュアルマイノリティー(性的少数者)の総称の一つ。

ウィーク)を学生と共に運営

しています。グルーベル先生には「インクルーシブ・コミュニティ宣言」(以下、コミュニティ宣言)と一緒に作りましょうと誘っていただきましたね。

アメリカの大学で 自らの偏見に 気が付く

武田 私は、全学開講の総合コースで「セクシュアリティと人権教育」を担当しており、^{※1}人権教育研究室のメンバーとして^{※2}も活動しています。2013年からは「関学レインボーウィーク」(以下、レインボー

私は政治学が専攻で、特にアメリカにおけるLGBTに關するいろいろな政治的な動きを授業で紹介してきました。日本との比較や、法律や社会運動がどのように進展してきたかということに關心を持って

見てきました。

関 僕は社会的な性的の問題に關してはよく分かっているのですが、生物学的な性がどうやってできるかという生殖の問題を研究してきました。生物の視点から社会的な性的の問題を見ると、LGBTの人たちをどうしてこんなに受け入れられないのだろうかと非常に違和感があります。今日は、生物学的な面から性を捉え、LGBTに對する偏見がなくなるようなことを発信できたらいいなと思っています。

武田 私は修士課程まで関

学で、博士課程はアメリカの大学で学びました。1990年当時、アメリカの大学にはLGBTのサークルが普通にあり、カミングアウトしている同級生に關わるうちに自分がいかに偏見を持っていたかと

反省させられました。関学の中学・高校時代、少し女性っぽい同級生をからかったりしていましたから。そして2000年に関学の社会学部社会学福祉学科で教え始めた時、将来福祉関係の仕事に就きさまざまな問題を抱えた人や子どもを相手にする学生たちにはLGBTの知識がなかったら、昔の私と同じように偏見を持って関わってしまうんじゃないかという思いから、少しずつ授業でも教えるようになったという経緯があります。

グルーベル 私も同じようなパターンです。大学時代に、例えば女性だったりアフリカ系アメリカ人だったりといういろいろな自立運動があり、LGBTについても学ぶ機会がありました。その中で、周りをもっと理解して、LGBTの人もみんなと同じ自由を持つべきだということに気付いていきました。

関 子どもの時からLGBTに對する違和感みたいなものがあり、それは自分と違う人に対する恐怖みたいなところ



↑関学レインボーウィーク

※1…人権教育研究室 大学の人權に關わる教育・研究・啓発推進のための統合的機關として、1995年に設置。あらゆる差別の問題を「人權」の立場から捉え、研究会の開催、研究雑誌や啓発冊子の発行など、関学大の人權教育・研究活動の整備を行っている。

※2…関学レインボーウィーク 性的少数者をはじめ多様性を認める環境をつくることを目的に、LGBTと称される多様な性的な在り方を認め、考える「IDAHOT(国際反ホモフォビア・反トランスフォビアの日)」(5月17日)に合わせて、2013年度から毎年開催。期間中はパネル展や交流会、パネルディスカッション、講演会などが行われる。(29頁に關連記事を掲載)



から生まれていると思っ
ていました。でも生物の勉強をして、性は強固に決まっているのではなく、可塑的に決まっていることが分ると、LGBTは基本的に自然なことだと受け入れられるようになりまし。理解すると受け入れやすくなるので、そういう知識が一般社会に広まればみんなが気にしなくなるのかなと感じますね。

日本では、科学が社会に根付いていないので、性がどうやって決まるのかを正しく知っているのは一部の研究者くらいです。「男は生まれつき男、女は生まれつき女」みたいな感じですが、自分たちが持つてほしい

生物の性は緩やかに決まる

と思っ
ている社会的な役割も生物学的な役割にすり替えていくところがあります。もう少し一般の人に科学を理解してもらおうような活動を僕ら研究者がしないと、なかなか難しいのかなと思っ
ています。

武田 関先生はなぜそういうテーマで研究しようと思われたのですか。

関 1個の受精卵から人ができるということを、単純に知りたかっただけです。それを突き詰めていくと、精子と卵がどうやってできるか、さらには性がどのように決まるかという研究につながっていきまし。調べてみると、各生物で全然違い、共通性がありません。緩やかに性が決まっているというのが、生物全体が繁栄していく上ではずごく重要なことで、それを人間だけ切り取って「男は男」というような固定概念があるのが一番問題かなと思っ
ます。

武田 「セクシュアリティと人権」の一部を担当してくださ

る大阪府立大学のセクシュアリティ専門の先生が、いつも授業で紹介するハワイ大学の先生の言葉があります。「自然は多様性を認めているが、それを否定しているのは人間社会だ」。そこが問題なのではないか。

グルーベル 確かにそうですね。

関 例えば、ある種のトカゲは温度で性が変わります。遺伝的にオスメスは決まっているものの、高温の所で生まれた卵はオスがメスになります。また、カクレクマノミは群れの中で一番大きいのがメス、次に大きいのがオスになります。そしてメスが死んだ場合は次に大きいオスが性転換し、生殖器も性的指向もメスに変わります。そういうシステムが生物の中にはあるのです。だから人間でも環境によって性的指向が変わるといのは起こり得ることだと学生にも言っ
ています。それが表面化したのがLGBTだという捉え方をすれば、偏見はなくなるのではないですか。そういうことを僕ら研究者がもつと社会に発信しないといけないと思っ
ます。

武田 かつて、性は生まれながらに決まっ
ている、だから差別

インクルーシブ・コミュニティ宣言

関西学院はミッションステートメントに基づいて、すべてのキャンパス(西宮上ヶ原、神戸三田、西宮聖和、千里国際、塚塚、大阪梅田、東京丸の内)に、「多様性を力とする垣根なき共同体」、すなわち「インクルーシブ・コミュニティ」を創出し、維持し、発展させることをめざしています。関西学院に育まれていくこのコミュニティが、地域社会から国際社会に至るまでのあらゆる社会の包摂力の向上に寄与していくことを確信し、ここに関西学院のすべての構成員に連帯と協力の呼びかけを行うものです。

ミッションステートメントにうたわれている「学びと探究の共同体」の実現とは、多様な個性や価値観、ライフスタイルを認め合い、すべての人にあらゆることにチャレンジする機会を提供する、公正で開かれた「インクルーシブ・コミュニティ」を創り出すことにあります。このコミュニティに集うすべての者—学生・生徒・児童・園児、教員、職員、同窓、およびその家族—は、性別、年齢はもとより、国籍、人種、民族、出身地、主たる言語、宗教・信仰、身体的・精神的特徴、セクシュアリティ、あるいは経験や知識、文化や学問的背景などを異にしています。

関西学院は、こうした違いのあることを尊び、この「多様性(ダイバーシティ)」こそが私たちのコミュニティの強さであると信じています。その構成員の一部を排除するような社会は、個人の持つ力を抑圧する、もろくて弱い社会です。違いのある者同士が、互いに排除するのではなく、価値を認めあう環境を作ることは、コミュニティを構成する各個人がその内なる力を発揮することを意味しています。それによって関西学院の構成員が地域

社会や国際社会に貢献していくための土台となっていくと考えます。

関西学院は、その創設時から、キリスト教主義に基づいて人権に配慮し、広く人々を受け入れる「インクルーシブ・コミュニティ」をめざしてきました。今後も、このコミュニティを実現するために、多様性に富む人々が互いに尊重し合い、それぞれの能力を発揮できる環境作りに向けた努力が求められます。そのためには一人ひとりの意識の変革と積極的かつ持続的な取り組みが不可欠です。

これからのち、私たちは、複雑で急激な時代の変化に立ち向かわねばなりません。関西学院のすべての構成員は、それぞれの学びの場において力をつけ、違いを認め合い、ダイナミックで生き生きとしたコミュニティを創りあげていくことで、地域社会から国際社会に至るまでの「インクルーシブ・コミュニティ」の構築に寄与していこうではありませんか。それこそが、スクールモットー「マスタリー・フォア・サービ」の体現となるのです。

2014年3月6日 関西学院院長 Ruth M.Grubel

付記

- ◎この宣言の主旨を踏まえ関西学院の各学校、各部署の活動がなされることを願っています。
- ◎この宣言の推進のために、インクルーシブ・コミュニティ促進委員会を設置し、啓発活動や情報提供を行っていきます。

ことですね。

関 僕らの分野では性スペクトラムという新学術領域ができました。性は厳密にはなく緩やかに決まっている、ではその緩やかさを生み出すものは一体何なのか、どうやって移っていくのかにフォーカスがシフトしてきています。

アメリカでは コメディ番組に LGBTが登場

武田 そういう研究分野が確立されつつあるということも、もともと知られるといえますね。グルーベル先生、アメリカ社会ではLGBTは受け入れられているのでしょか。

グルーベル ムスリムなどの宗教の中にはLGBTの行為は絶対に禁じられるものという見方があるなど、社会に根強い反対があり大変難しいですね。けれども、クリスチャンのコミュニティでもLGBTのことを受け入れる人がどんどん増えています。関学が関係しているメソジスト教会では、教会全体としてLGBTの人たちを平等に受け入れるという決断をしました。一方で、それを

理由に教会を離れる人がいるのが現状で、見方が分かれているといえます。

また、アメリカでは、テレビドラマに普通に同性愛のカップルが登場したり、最近では高校生が自分の性的指向に気付いてレズビアンだと意識し始めて、コメディが放送されたりと、あらゆる思いの人たちがそういう番組と一緒に楽しめる環境があります。日本では、まだそういう状況はないのかなと思いますね。

武田 少し違いますが、Eテレの「バリバラ」は頑張っています。「セクシュアリティと人権」で毎年お話ししてくれる玉木幸則さんがコメンテーターを務める番組で、ダウン症の男の子が街頭で女性に「妊娠中にお腹の子がダウン症だと分かったらどうしますか」と聞くといった、日本ではタブー視されていることを積極的にやっています。面白いですよ。

LGBTに関する社会運動において、日米の違いはありますか。

グルーベル アメリカの方が盛んです。社会がはつきりと分かれていますから。いろいろな活

動の結果がニュースで取り上げられますし、運動自体が目立ちます。日本では、普通に街を歩いているだけではあまり意識することは少ないですね。

難しいトイレ問題 トライ&エラーで 解決を

武田 関学でも考えても、キャンパスには教職員、学生含めて一定数のLGBTの人がいるはずですが。何か見聞きしたことはありますか。

関 実際に会ったことはないですね。トイレはどうですか。海外の大学にはトランスジェンダー用トイレがありますが、日本はどうしているのですか。

武田 確かに、トランスジェンダーの学生が自認する性のトイレを使えない、「見た目は女性だけど、自分では男性だと思っているから男子トイレを使いたい」といった問題はありますね。仕方なく性別に分かれたトイレを使っている人もいれば、障がい者用トイレを使っている人もいます。現在、学内の障がい者用トイレは車いすかオストメイトのヒクトグラム^{※4}だけなので、多目的トイレ

と名称を付けてほしいとお願いしています。セクシュアリティに配慮したトイレであること、を明記すると、かえって当事者が使いにくくなるなど、トイレの問題はとても難しいと感じています。

グルーベル アメリカの各地では、誰でも使えるトイレの運動が起きたり、トランスジェンダー



社会学部 **ルース M. グルーベル** 教授
(研究分野/国際関係論)

※3…オストメイト ささまざまな病気や事故等により、排泄のための人工肛門や人工ぼうこうを保有する人。

※4…ヒクトグラム 視覚記号の一つ。表現対象である事物や情報から視覚イメージを抽出、抽象化し、文字以外のシンプルな図記号によって表したものを。

何かあると、日本ではすぐに拒否反応が広がるけれど、その時にすぐに変えるのではなくてもう少し続けてみるのが大事だと思います。

武田 エラーが出てもやってみるという意識はすごく重要ですね。実際にアメリカでは、学生が自認する性のトイレを使うという実験をしたところ何の問題も起こらなかったという研究結果が出ています。恐れずにとりあえずやってみるのも一つの方法かもしれません。

グルーベル 社会全体でこれという解決策がないわけですから、学校でもいろいろやってみるべきですね。

キャンパスの多様性を強さに変えていこう

武田 関学では2014年、グルーベル先生が先頭に立ってコミュニティ宣言を発表しました。なぜそういうものが必要だと思われたのですか。

グルーベル 私は外国人ですが、差別されていると感じたことはありませんでした。でも、自分が意識しなくても、組織の中にはLGBTの問題だけ

↓レインボーウィーク講演会の様子



でなく、さまざまな差別的な面が存在していることが分かってきました。生徒や学生が自分らしく精いっぱい可能性を發揮できるように環境が理想だな、どんな人でも輝ける場所があればいいなと思ったのです。

武田 キャンパスの中の多様性を強さに変えていこうと宣言していますが、これはとてもすてきな事だと思います。でも、学内でもなかなか認知されていないのが現状です。

関 大学として、すごいアピールポイントですね。

武田 日本の大学ではいち早く発表した素晴らしいものなのに、ほとんどの方が知りませんし、知っている人にも「理念

的なものなので、実際に何をしたらいいのか分からない」と言われます。そこで人権教育研究室では、宣言を実現するための行動指針を作り、具体的に関学はこういうことをするんだと明記していこうと提案しているところです。

関 レインボーウィークも画期的な試みですね。いつ始まったのですか。

武田 2013年です。「関学の中のセクシュアルマイノリティ」というタイトルで、LGBTの学生1人と卒業生3人によるパネルディスカッションと、そのうち2人の同性カップルの日常を撮影した写真展をしました。授業や人権問題講演会で当事者に話を聞き、「大変だな」「そんな人がいるんだな」「そういう問題があるんだな」と分かっても、自らの問題、キャンパスの中の問題という意識を持っていないんじゃないかというのが始めた理由です。反響が良かったので毎年やっていくことになりました

関 トイレの問題以外に、LGBTの学生たちはどんな

ことで困っていますか。

武田 2015年度と16年度のウェブ調査では、キャンパスでセクシュアリティのことに関して嫌な思いをしたと答えた学生が多数いました。そこで、15年度は何に困っているか、16年度は何をどう変えてほしいかのアンケートを行いました。健康診断が男女別に行われるので、男女問わず個別



人間福祉学部 武田 文 教授

(研究分野/国際・多文化ソーシャルワーク、参加型アクション・リサーチ、共生社会の実現)

対応できる日を設けてほしいというのも一つ。保健館は個別対応しているのにそれが伝わっていないかったの、しっかり広報してくださいとお願いました。トランスジェンダーの学生が一番困っているのは就職です。履歴書の性別と自認する性が異なるのは仕方がないにしても、キャリアプラン等に関する研修

で考える人生設計が完全に異性愛ベースになっており、結婚する、子どもを持つのが当たり前という形で進んでいくので、すぐ居つらいという声は聞きました。

関 結婚や出産は、現実的にキャリアプランに組み込まれるわけですよ。それを、LGBTの人に配慮して全

てなくしてしまうと、逆にLGBT以外の人たちが得られる情報を得られなくなってしまう。難しいですね。

グルーベル 大切なのは言い方です。人生設計について言うなら、もし子どもを産みたくればこう考えるのがいいんじゃないですか、というふうの一つの例として挙げるのです。言っている側も意識していないだけで、気付けばああそうだねって思うでしょう。

武田 私たちは刷り込まれてますよね、男、女というのを。15年くらいセクシュアリティに関わっていても、いまだに配慮が足りない発言をしてしまうことがあります。この場で使うべきではないという時に、「『彼女』はこういう人です」とつい言うってしまうとかね。

当事者に配慮を まず知り そして行動に表す

関 LGBTの学生に対して、僕たち教員がすべきことは何でしょうか。

武田 配慮することですね。私は「君」はできる限り使わないようにしています。小学校でも今は「さん」に統一しているので、なるべくそうした方がいいと思います。他にも、男女でペアをつくらせないとか。

今の若い人は女子力という言葉を使いますが、それはセクシュアリティだけでなく、ジェンダーの視点でもよくないですね。人間力がいい。普段の発言でそういう配慮をしていたら、この先生は分かってくれているんだなと伝わるのではないのでしょうか。

関 LGBTではない学生が心掛けることはありますか。

武田 同じく配慮です。多様なセクシュアリティがあることを知って、それに気配りすれば、みんなが自分らしく生きられるキャンパスになっていくのかなど。まずは知ること、そしてそれを行動に表していく

ことができればいいなと思います。友達同士で「彼氏いるの?」「彼女いるの?」という言い方をしますが、それを「パートナー

いるの?」「恋人いるの?」と変えればいいんです。

関 まず知識ですね。知識があれば、反射的に行動できるような気がします。

武田 レインボーウィーク中は、パネル展やLGBT関連の図書の展示、関係する世界の映画の上映会などをしますの中で、基礎知識を得ることができます。「セクシュアリティと人権」の授業もぜひ受講していただきたい。勉強する機会がたくさんありますので、積極的に知識を吸収していったほうがいいです。

関 自分は違っても、子どもがそうなる可能性があると考えられるのも大事ですね。障がい者になる可能性もあるし、LGBTの可能性も。僕は子どもが二人いますが、生まれるまでに障がいのことも自分で理解して、受け入れようという心の準備はしていました。まだ幼いので性的指向は分かりませんが、そうなる可能性もあるということですよ。

幼少期からの LGBT教育で 時代は変わる

武田 自分は関係ないと思っ



工学部 **関 由行** 准教授
(研究分野 / エピジェネティクス、幹細胞生物学、生殖医学)

最後に、今後どう取り組んでいくことが望ましいでしょうか。

関 日本は同調圧力がすごく強いので、それを変えていかなないと難しいですね。みんな日本人で、みんな同じようにしているので、自分と違う人に接する機会がすごく少ないため、それに対する恐怖感がすごくあるのでしょいか。

武田 だからこそコミュニティ宣言があるのです。人の心は変えられないので、気持ちが悪く思う人をそうでなくすることはできません。けれども、実際に行動や口に出すことによつて傷つく人がいれば、それは問題です。心の中までは変えられなくても、差別的なことを言ったりしたりするのは間違ひなのだというのを理解してもらうのが重要です。

関 それは小学生くらいにさかのぼらないと難しいですね。刷り込まれた人は、精神的には変えられなくて、頭で理解して変わることしかできません。僕は自分の子どもたちには、性的なことが、生物には温度で性が変わるものもあるし、心が男で体が女性でも普通だということ話をしています。小学生くらいなら教育次第で変わるでしょうから、これからは小学校や中学校の先生たちへの発信が一番大事なのかなと思います。

武田 教職員も、学生も、自分は差別はしないと言いますが、それでは何も変わりません。いじめを前にして、傍観者は加害者と同じです。おかしい

言えるようにならないといけない。幸い、関学には幼稚園からありますので、そういう教育をやつていただきたいです。数年前、授業中にある男子学生がLGBTに関して否定的な発言をしたら、「今の時代、それはおかしいよ」と別の学生が指摘しました。そういう動きが広まっていけばいいと思います。

関 おかしいと思うのは個々の自由ですが、その人の権利を侵害するとか、制度によつて不利益を被るということが一番問題ですね。

グループベル 日本の社会は、みんな同じ教育を受け、同じ文化を吸い込んでいると思っていられるけれども、あるレベルではたぐさんの違いがあります。それらは本当は強みなのですが、もつとポジティブに、上手に扱わなくては弱いものになってしまいます。例えば会議の中で、違う意見を持つ人たちがただ意見を言うだけで終わると何にも決まりません。「こうします」「いや、それはおかしいじゃないですか」「じゃあ、どうすればいいですか」と、より良い最終的な結論に導くためにみんな

が議論し合える環境をつくらなくてはならないと思います。**武田** 行動指針にも書いているのですが、新しい建物を造る場合など、例えば障がい者等に配慮されているかどうかを当事者がきちんとチェックできる、意見を言えるような仕組みをぜひつくってほしいですね。私たちでは気付かないことがあるので。

グループベル 料理を一度もしたことがない人がキッチン設計をして、これが一番いいと思ひ込んでしまうのと同じですね。本当にそれを使う人、それに携わる人たちに、決める段階で関わってもらうことが大事です。

関 僕らの世代は、男性が子育てや家事をするのは当たり前になっています。だから、子どもたちへの教育をしっかりとして、時代が変われば一気に変わるような気がします。

武田 先日、経済評論家の勝間和代さんが同性パートナーの存在を公表されました。本当はカミングアウトする必要もないとは思っていますが、公表できるようになったということは、LGBTに対して、日本の社

会も少しずつ変わってきたのかなと思います。完全に偏見がないというのは無理でも、近い将来、大きな変革がやってくるかもしれませんね。



会も少しずつ変わってきたのかなと思います。完全に偏見がないというのは無理でも、近い将来、大きな変革がやってくるかもしれませんね。

らない、と書かれていました。本に書かれていることを無批判に受け入れるのではなく、著者の言うことは本当か、自分はどう思うのか、なぜ賛成するのか、あるいはなぜ違うと思うのかを考えると大事だということです。

日本は与えられた条件の中で、何とかその通りにして良い成績を取ることを得意としてきました。例えば、スポーツの世界では、札幌オリンピックのスキージャンプでは、金銀銅メダルを独占するほど大活躍しました。すると、日本の快進撃を快く思わないヨーロッパ勢が、これ以上日本にメダルを取らせないようにとルールを変えてしまったんですね。その後、真面目な日本選手たちが新ルールの下で練習を積み、再びメダルが取れるようになると、またしてもルールが変更されてしまいました。

同じことが金融の世界でも起こりました。日本の銀行が世界を席巻するほどの力を持ったことを面白くない海外の金融界が、日本の銀行の弱点である自己資本比率に目を付け、自己資本比率を8%以上になければならないというルールを作ったのです。このルールによって日本の銀行はずいぶん淘汰されました。

私たちは小学校の時から学校が作ったルールを守り、良い子であろうとしてきました。そうすると、どうしても他国が作ったルールに合わせていくという発想になってしまいます。そうではなく、皆さんには、ぜひ自らルールを作り出すことができるようになってほしいと思います。

大学時代に身に付いた自分の頭で考える習慣

私はNHKで32年間、記者の仕事をしていました。警視庁の捜査一課、捜査三課を担当していた時は、捜査員から話を聞くために毎晩、捜査員の前で待ち伏せしていました。捜査員が帰ってくるのは夜中の1時過ぎです。それまで暗闇に立って待っているわけです。その時間、何もしないのもったいないと思って始めたのが、ラジオ英会話の勉強でした。その頃は海外で働くことになるということは想像もしていま

せんでしたが、暗闇で一生懸命勉強した英語が今、とても役に立っています。そのほかに、経済学の勉強もしました。大学時代は学園紛争で授業がなく、しっかり勉強ができないまま卒業してしまっただけで、じくじたる思いがあったからです。その結果、今、某大学で経済学を教えています。

私はニュース解説の仕事をしていますが、分かりやすく解説するためには資料を読み込む必要があります。今思うと、この力は大学時代に身に付いたものです。授業がないので、自分で本を読んだり、仲間と議論を戦わせたりする中で、自分の頭でものを考える習慣が付いたのです。あの時は明確な目標があって勉強していたわけではありませんが、大学時代に自ら学んだことが今、思わぬ形で生きているということです。

教育や知識は盗まれることのない財産

また、私は海外取材を通して、学ぶということについていろいろ考えました。ネパールには、今も親の借金のために大地主の家に丁稚奉公に出される女の子がいます。一日中働かされて学校に通うこともできません。そうした女性を救い出して教育をしているNGOを取材しました。そのNGOに救い出された20歳の女性は、勉強するようになって一番うれしかったことは、「自分の名前が書けるようになったことだ」と言っていました。自分は本当に存在するんだと実感できたというのです。

また、フィリピンのスラム街の子どもたちに勉強を教えているフィリピン人

の青年を取材したことがあります。スラム街の子どもたちは、ごみの山から空き缶や空き瓶を拾って換金し、生活費を稼いでいます。学校に通うこともなく、ひたすら朝から晩までごみの山に取り組んでいるのです。青年は、そのスラム街の子どもたちに勉強を教える取り組みをしています。最初は勉強に興味を示さなかった子どもたちも、学んでいるうちに読み書きができるようになり、分かることが増えると、次第に勉強に夢中になっていきます。そこで勉強の楽しさを知って学校の先生になった青年もいます。その青年は「もし勉強しなかつたら、自分はきっとギャングの一味になって抗争事件で死んでいたと思う。でも、勉強の楽しさを知って、新たな人生を歩むことができた」と言っていました。

その青年に「あなたにとって教育とは何ですか」と聞いてみました。そうすると、彼は「決して人に盗まれることのない私の財産です」と答えてくれました。身に付けた教育、知識は決して人に盗まれることはありません。それは自分の財産です。その財産をもとに人生を切り開いていくことができると言うんですね。

知れば知るほど知らないことに気付く

君たちは今、大学で学んでいます。それは自らの財産を積み重ねているということです。自分一人で自分の人生を切り開き、生きていくことのできる力、財産を蓄えているのです。皆さん方には、ぜひ好奇心を持っていろんなことを知ろうしてほしいと思います。「無知

の知」という言葉がありますが、知れば知るほど、自分はものを知らないことに気が付きます。それで、「これではいけない」とさらに勉強しようという気になるのです。

世の中には、年を取っても、いろんなことを吸収したいという意欲にあふれた人がいます。瀬戸内寂庵さんは90歳を超えてもなお好奇心のかたまりです。先日お会いした時にはいろいろと質問攻めにされました。だから若さが保てるのだと思います。

私の父親は亡くなる直前まで知的好奇心にあふれていました。寝たきりになってからも「広辞苑」の第四版が欲しいと言って、枕元に置いて読んでいたほどです。国語辞典は分からない言葉を調べるものだと思っていたのですが、父は国語辞典を1ページずつ読んでいました。そんな人がいることにとても驚きました。

受けた恵みを将来世の中に恩返し

人間はいつになっても勉強し、成長し続けることができます。そして学んだことは自分の財産になります。皆さん方は、こんな美しいキャンパスで学ぶことができ、なんと恵まれていることかと思えます。しかし、自分が恵まれているという自覚がありません。不是吗。自分の受けている恵みのごく一部でもいいですから、将来、世の中のために返していただきたいと思えます。それは日本のためでも、世界のためでも、国際機関のためでも結構です。ぜひ恩返しをしていただければと思います。

↓西宮上ヶ原キャンパス会場の中央講堂には約800人の学生が集まった



学びつづける力とは

～グローバル社会で生きるために～



↑学生に講演する池上氏

現地で見たと知識を照らし合わせる

テレビの取材で出掛けたシリアから、月曜に帰国したばかりです。イスラエルに行く、ユダヤ教の戒律がきちんと守られていることがよく分かります。例えば、マクドナルドにはチーズバーガーは売っていません。肉と乳製品と一緒に食べてはいけないからです。また、エレベーターは土曜になると、シャバットエレベーターという安息日用のものに切り替わります。全自動でボタンを押さなくても各階に止まるようになっていて、この安息日には電気の使用が禁止されているので、エレベーターのボタンを押してはいけないからです。ユダヤ教の戒律は知識として知ってはいましたが、実際にその様子を目にして、初めてこういうことなんだと分かりました。

NHKを辞めてフリーになってから、大学の授業に支障が出ない程度に海外に行っています。先日、計算したところ、これまで84の国と地域に行っていました。なかなかのものではないかと思っていたのですが、先日、イモトアヤコさんが100カ国を達成したと言っていましたね。南アフリカのレントが100カ国目だということで、彼女には常に先を越されています。ただ、彼女の行く国と私が行く国はだいぶ違いますから、これからも追い付くことは難しいかなと思っています。

海外に取材に行く際には、日本国内でいろいろなニュースを見たり本を読んだりして、それぞれの国の情勢を理解していくのですが、やっぱり現地に行くと、そういうことがあるわけですね。現地に行くと見てきたことを自分の頭の中の知識と照らし合わせることで、そうか、こういうことだったのかというのと分かるということです。

常に疑問を持ち自分で判断する習慣を

大学生の皆さんは自分が「学生」であることに誇りを持ってほしいと思います。学生とは自ら学び、自ら疑いを持つ存在です。

大学では、最先端の研究をしている先生方から直接教えることができます。これこそ大学生の特権です。しかし、最先端の研究には、まだ定説になっていないものもあります。つまり、今、正しいと信じられていることも、何年後かには間違いだったということになる可能性があるのです。その逆も十分あります。ですから、教わったことをそのまま信用するのではなく、常に疑問を持ち、自分の頭で判断する習慣を付けてほしいと思います。大学でとりわけ大切なことは、「よき問いを立てる力」を身に付けることです。高校までは、先生から教わったことを答えていればよい点が取れました。しかし、社会には正解がないことがいくらでもあります。

関西学院大学は5月10日、ジャーナリストの池上彰氏を招き、講演会「学びつづける力とは～グローバル社会で生きるために～」を開きました。メイン会場の西宮上ヶ原キャンパスと、中継がつながった神戸三田キャンパスには、合わせて約1,000人が集まり、貴重な話に耳を傾けました。池上氏の講演内容を紹介します。

ですから正解を探すのではなく、問いを立てることが重要なのです。

今、AIが猛烈な勢いで能力を高めています。AIは、問題に対する答えを、ビッグデータを使って瞬時に導き出すことができる点で非常に優れています。つまり、君たちがしてきた正解を導き出すという点において、AIには絶対になれないのです。ですから人間はAIにできないことをしなければなりません。それは、課題を見つけ、それを解決に導くための「よき問いを立てる」ことです。

例えば、「幸せとは何か」という問いを立てたとします。これはAIにはなかなか答えられない質問です。幸せを測る指標としてGDPを用いる考え方があります。一般的にGDPが高ければ、その国は経済的に豊かだと言えるからです。しかし、GDPが高ければ本当に幸福でしょうか。例えば、自動車事故が起きた場合、けがの治療費や自動車の修理代金などがGDPに反映されます。でも、これでGDPが上がったとしても決して幸せとは言えません。

ブータンという国では、GDPに代わる新たな幸せの指標としてGNH、国民総幸福量という考え方を取り入れています。幸せを測る指標として、一日に瞑想の時間をどのくらい持っているかとか、地域の祭りに参加しているかを聞いています。自分で時間を自由に使うことができているか、地域に居場所があるかということを経験の指標としているのです。

東京工業大学の学生に、ブータンの幸せの指標についての授業をした後にテストをしました。ブータンではGNHという考え方で国民の幸せを測っている。もし日本でGNHを計測する場合、どのような質問項目が考えられるかという問題です。さあ、皆さんどのように回答しますか。実は、こん

な答えだったら、いい成績をあげようと思っていた回答があります。それは、国民の幸福とは極めて主観的なものであり、客観的な指標として表すことは不可能である。そのような質問をする池上教授の考え方がナンセンスだ、というものです。おそらく、皆さんは私の問いに対して全く疑問を持たず、一生懸命考えてくれたと思います。しかしそこで、ちょっと待てよと。幸福って、人によって全く違うよね。幸せという主観的なものを客観的に測ることができるのだろうか、と疑問を持ってほしいのです。

日本では、男女格差が大きいことが問題視されています。実際に、世界経済フォーラム(WEF)による「世界男女格差レポート」では、日本の男女平等の度合いは世界144カ国中114位という結果が出ています。一体、どのような国が上位に入っているのかと思って調べたところ、北欧諸国に交じって、アフリカの貧しい国も上位に入っていました。つまり、アフリカの貧しい国は男性も女性も教育を受けられないという点において格差がない。人々はおしなべて権利が奪われ、おしなべて貧しいのです。統計データをそのまま信用するのは危険だということが分かったと思います。何事においても、「ちょっと待てよ」と疑問を持ち、物事を根本的に考えるようにしてください。

自らルールを作り出せることが大事

私は本を読むことが好きで、大学時代はいろんな本を読みました。中でも衝撃を受けたのがドイツの哲学者、アルトゥール・ショーペンハウエルの「読書について」です。ただ本を読むだけでは他人の思考をたどっているにすぎない。それをもとに自分で考えなければなら



新入生ら約400人が訪問 15団体が参加しボランティアEXPO

学内外で活動するボランティアサークルが集い、日頃の活動を紹介する「ボランティアEXPO」が4月12、13の両日、西宮上ヶ原キャンパスG号館で開かれました。15団体が参加。会場には2日間で新入生ら約400人が訪れ、先輩たちから活動内容などを熱心に聴き入りました。

さまざまなボランティア団体の活動を広く知ってもらおうと、学生や教職員の有志によって10年前に始まった催しで、2年前からはボランティア活動支援センター「ヒューマン・サービス支援室」が引き継いでいます。

今年は、小学生対象のキャンプやマレーシアでのワークキャンプなどに取り組む「K.G.



BrainHumanity」、フィリピンの孤児院支援や東日本大震災の復興支援などを展開する「関西学院上ヶ原ヒバタツ」、地域活動に取り組む「地域フィールドワーク宝塚」「学習ボランティアサークルALIVE」などが参加しました。活動内容をテーマで分けると、「こども・教育」「福祉・医療」「国際」「環境」「地域・災害」と多岐にわたり、新入生たちは、関心のある団体のブースに行って説明を聞き、質問をぶつけていました。

神戸三田キャンパスで START UP KSC! 2018を開催



神戸三田キャンパスで4月6日、総合政策学部、理工学部の新入生を対象に、留学制度やハンズオン・ラーニング・プログラム、教職課程、奨学金、一人暮らし説明会等、学生生活全般に関する情報を提供する「START UP KSC! 2018」が開催されました。

西宮上ヶ原キャンパスで実施されてきた「キャンパスライフABC!」の神戸三田キャンパス版。神戸三田に通う新入生がよりスムーズに大学生活

を送ることができるよう、初の取り組みとして企画されました。

提供されたプログラムは合計16。留学に関するプログラムには2回で約600人の学生が集まりました。参加した総合政策学部1年生の女子学生は「オリエンテーションだけでは理解しきれない詳しい話を聞くことができてよかった。大学生活の中で自分がしたいことは何なのか、冷静に考える良い機会になった」と話していました。

関西インカレ男子100メートルで 多田修平選手が55年ぶりの4連覇!

「第95回関西学生陸上競技対校選手権大会」の3日目が5月11日、西京極総合運動公園陸上競技場で行われ、陸上競技部の多田修平選手(法学部4年生)が100メートルで優勝し、55年ぶりの大会4連覇を達成しました。

決勝は向かい風1.5メートル。多田選手は持ち前のスピードで加速し、抜け出します。10秒



30でゴールし、2位に0.2秒の差を付けました。

尾崎幸洋名誉教授に 紫綬褒章

学術や芸術、人命救助、ボランティア活動など、さまざまな分野で功績のあった人をたたえる2018年春の褒章の受章者が4月28日付で発表され、学術研究や芸術文化への功労者が対象の紫綬褒章の受

章者に、尾崎幸洋名誉教授が選ばれました。分子分光学研究の分野で長年にわたり功績があったことが認められたものです。



関学カプセル...38



教職員や学生が講演者として各々の取り組みを紹介する「クレセントアワー」が開催されている。学内での「気づき」と「出会い」の場となっており、昼食を食べながら気軽に参加することができ。

アカデミックコモンズ



Twitter



Facebook

また、教職員が一体となりアカデミックコモンズ活性化委員会を組織し、学生によるプロジェクト活動を支援する体制を構築するなど、ハード面だけでなくソフト面でも新しい学びを支援している。毎週水曜の昼休みには、

アカデミックコモンズ

2013年4月に神戸三田キャンパスにオープンした「アカデミックコモンズ」(Academic Commons)は、「学習」と「憩い」と「学生活動」の融合をコンセプトとする「学生の学生による学生のための生きた学びの場」である。

2階吹き抜けて自然光を取り込んだ、壁のない800平方メートルの大空間「アクティブラーニングゾーン」をはじめ、1200平方メートルのハイビジョンプロジェクトターや音響設備が充実した「シアター」など、多彩なエリアが学生の自主的な学びや授業外での幅広い学びの場を提供している。

自主的で幅広い
学びの場

関西学院教育振興会募金協力をお願い

W.R.ランパスが1889年に創立した関西学院は現在、7つのキャンパスに幼稚園から大学院までを擁し、2万9,000人を超える学生、生徒が在籍しています。

関西学院の教育と研究が長きにわたって発展し続ける原動力となったのは、関西学院教育振興会を通じた皆さまからのご寄付です。これまでの温かいお力添えに心から感謝いたしますとともに、本年度も一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

2017年度募金状況

2017年度も下表のように多くの皆さまからご寄付を頂戴いたしました。ここに深く感謝の意を表します。

関西学院理事長
宮原 明

関西学院理事長
宮原 明
関西学院院長
田淵 結
関西学院副理事長 関西学院大学学長
村田 治
聖和短期大学学長
千葉 武夫
関西学院高等部長
枝川 豊
関西学院中部部長
安田 栄三
関西学院初等部校長
田近 敏之

	件数	金額(円)
個人	3,425	230,641,102
法人	71	52,442,480
団体	92	108,454,285
合計	3,588	391,537,867

◎募金のお問い合わせ／関西学院法人部校友課 ☎0798-54-6010

KG★グルメ

Central Pocket (西宮上ヶ原キャンパス)

北海道ソフトクリーム

生 乳をたっぷり使った「北海道ソフトクリーム」は、この季節の人気商品の一つ。口にした瞬間に広がるその味わいは、濃厚なのに爽やかで、北海道の大自然を感じさせます。コーンは、スティックタイプの「メープルコーン(145円)」と大きめタイプの「フローラルトッピング(190円)」から選べます。冷たいものが欲しくなるこの季節、ぜひ、今日のおやつに選んでみてはいかがでしょうかでしょう。



「挑戦することが一番の勉強」 ポール・キャンランド氏が講演



関西学院大学は4月20日、ウォルト・ディズニー・ジャパンの代表取締役社長を昨年12月まで10年間務めたポール・キャンランド氏を招き、神戸三田キャンパスで講演会「グローバルマーケットで成功していくために」を開きました。キャンランド氏の講演会は3年連続ですが、神戸三田では初めて。会場のアカデミックコモンズは150人以上の学生で満席となり、学生たちはメモを取りながら、貴重な話に耳を傾けました。

日本での滞在が長いキャンランド氏は日本語で講演。最初に「国内外のさまざまなキャンパスを見てきましたが、関西学院大学のキャンパスは素晴らしく、特別な雰囲気がありますね。3回目ですが、毎回、楽しみにしています。今日、皆さんとお会いできてとてもうれしい」と語り掛けました。

講演は「新しいグローバル経済において必要なスキルとは」をテーマに始まり、「Flexibility(柔軟性)」「Curiosity(好奇心)」「Preparation(準備)」など、

自身が大切と考える7つのスキルを紹介。「年を重ねると、知らないことを人に聞くことが難しくなるが、『知らない＝恥ずかしい』という考えは間違っている。死ぬまでずっと勉強、新しい発見を求めるという考えを持ってほしい」「何かをするときに『自分が一番準備をしている』と思えるくらい準備をすること。そうすることで自信が生まれるし、緊張もしなくなる」と訴えました。

質疑応答では、多くの学生が手を挙げ、「何かを継続するために大切なこと」「自分の情熱を見つける方法」「学生時代に熱中したこと」などについて質問。「自分の強みを見つけるにはどうすればよいか」という質問に、キャンランド氏は「みんな、それぞれに才能があって、目立つ才能と目立たない才能がある。多くの人と話し、さまざまな経験をすることで、自分の才能が何か分かってくる。挑戦することが一番の勉強。怖がらずに挑戦し、自分の才能を大学生のうちに見つけてほしい」とエールを送りました。

バドミントン部が関西制覇！ 55年ぶりの快挙

「平成30年度関西学生バドミントン春季リーグ戦」の最終戦(男子)が5月4日、関西大学体育館であり、バドミントン部が立命館大学に勝利し、55年ぶりに優勝しました。

両校とも全勝で迎え、勝てば優勝が決まる大一番。試合は2勝2敗で第3シングルスまでもつれます。最後を託された中原拓也選手(商



学部4年生)が粘り強いレシーブと正確なショットを決めストレートで勝利し、関西学院大学が接戦を制しました。



多様な性の在り方を認めよう 関学レインボーウィークを開催



性的少数者をはじめ多様性を認める環境をつくることを目的にした「関学レインボーウィーク」が、西宮上ヶ原キャンパスと西宮聖和キャンパスで5月14日から18日まで、神戸三田キャンパスで5月21日から25日まで開催されました。

同ウィークはLGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)と称される多様な性の在り方を認め、考える「IDAHOT(国際反ホモフォビア・反トランスフォビアの日)(5月17日)に合わせて、2013年から毎年開催しています。6回目となる今年のテーマは、「ZERO DISCRIMINATION:このキャン

パスに「ワタン」がいる～「私らしさ・あなたらしさ」を大切にできるキャンパスをつくりたい!」。期間中は、パネル展、LGBT関連図書展示、映画上映会、交流会、パネルディスカッション、講演会などを開きました。

関西学院は2010年9月、学生・生徒・児童・教職員ら関西学院に集う全ての人々が性別や年齢はもとより、国籍、人種、民族、出生地、宗教、セクシュアリティといった違いを尊び、それぞれの能力を発揮できる環境づくりに向けて努力していこうと、「インクルーシブ・コミュニティ(多様性を力とする垣根なき共同体)宣言」を発表しています。

101校の高校生が成果を発表! SGH甲子園2018開催



全国のスーパーグローバルハイスクール(SGH)の高校生たちが研究成果を発表し合う「全国スーパーグローバルハイスクール課題研究発表会2018 SGH甲子園」(関西学院大学、大阪大学、大阪教育大学主催、早稲田大学協力)が3月24日、西宮上ヶ原キャンパスで開かれました。

2017年度文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業(主体性分野)の調査・研究の取り組みの一環で、101校140チームが参加。学校関係者を含めて約2,400人が集う中、高校生たちは、「外国人観光客向け医療アプリ開発」「初等教育におけるプログラミング教育」「自

然災害発生時に多文化間で発生する問題とその解決策」など、多岐にわたるテーマで発表。

主催大学の教員による審査によって各部門の受賞者が発表され、プレゼンテーション日本語部門では「カンボジアの貧困層に医療を届けるための日本の非政府組織の可能性: Sunrise Japan HospitalとNPO法人 Japan Heartの事例から展望を探る」について発表した関西学院千里国際高等部、英語部門では「An ideal model of community bus service in aging society」を発表した宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。

社会学部の授業にくまモンが登場!

熊本県の営業部長兼しあわせ部長を務める同県のキャラクター、くまモンが5月16日、社会学部の授業に「サプライズ」登場しました。「くまモンと熊本県のブランド戦略」について



の講義に合わせて訪れたもの。また、ボランティア活動支援センター「ヒューマン・サービス支援室」が熊本地震の後、続けている現地ボランティアに参加した学生との交流会も行われました。

くまモンが登場したのは「広告文化論」。熊本県のブランド戦

略やくまモンをCMに使う効果など、広告コミュニケーションの成功事例などが紹介された後、教室に現れました。くまモンは、くまモン体操や記念写真撮影などを行い、教室は受講していた約500人の学生の笑顔で包まれました。

井村誠孝・理工学部教授の研究成果を 文部科学省・情報ひろばで展示中

理工学部人間システム工学科の井村誠孝教授の研究成果が5月1日から8月24日までの約4か月間、文部科学省旧庁舎3階情報ひろば企画展示室で展示されています。

同企画展示では、バーチャルリアリティ(VR)学研究室(井村研究室)での研究の一端を手軽に体験可能なデモンストレーションとして紹介しています。例えば、ディスプレイに書いてある英文を目読(黙読)すると読み終わった部分の文字が徐々に消えていくことで、ネイティブスピーカーと同じ語順で英語を理解することを促進するシステム「視線



計測システムを利用した英語多読支援」などを展示しています。

井村教授は「VRには大掛かりな装置が必要なものだけではなく、さまざまな形態があります。ふらっと立ち寄ってもVRのエッセンスが感じられるデモを用意しましたので、たくさんの方に体験していただければうれしく思います」と話しています。

学院通信

関西学院幼稚園では、6月2日に「花の日礼拝」を開催しました。

「花の日礼拝」は1856年、「子どもたちが信仰生活に入るために、また、その両親が子どもたちを神に捧げる日」として、米国人牧師のレオナードが6月第2日曜に特別礼拝を行ったのが始まりとされています。子どもたちが花のようにすくすくと育つことを願って祝福を祈った「花の日礼拝」が同じ日であったので、この日を「花の日・こどもの日」としてキリスト教の教会や園で礼拝が行われるようになりました。

この日は年長組と年中・年少組とに分かれ、それぞれ保護者も参加する礼拝を実施。園児たちは讃美歌を歌い、保護者から聖書の言葉や話を聞き、熱心に祈りを捧げました。礼拝後には園内で取れた松ぼっくりで作った人形を使っての輪投げや、カタバミの葉で10円玉をこすってピカピカにする体験を行うなど、園内にあるものを中心に活用した

自然遊びを家族で楽しみました。大北理津子教諭は「自然にあるものを活用することで育つ、園児たちの創造力を大切にしていきたい」と、語りました。

また、6月4日には園児たちは西宮上ヶ原キャンパスと西宮聖和キャンパスを訪れて、各部署に家庭から持参した花を届けました。普段とは違った雰囲気、大人たちの顔も笑顔であふれる一日となりました。

▼礼拝の様子



↑園内で取れた松ぼっくりで人形作り

花のようにすくすくと育つことを願い
幼稚園で花の日礼拝を開催

巖佐庸・理工学部教授が
The Akira-Okubo prize,
for a senior scientistを受賞

いむさ 巖佐庸・理工学部生命科学科教授がSociety for Mathematical Biology(米国を中心とした数理生物学の学会)でThe Akira-Okubo prize, for a senior scientistを受賞しました。



この賞は、米国の大学で長年教壇に立ち、生態学における拡散過程の研究で先駆的な業績を挙げた日系人のAkira Okubo(大久保明)氏を記念して設立された賞です。2年に1度、若手研究者と年齢制限のない年長の研究者とに交互に授与されるため、今回はlifetime award(年齢制限のない賞)という4年に1度の賞の受賞となります。

巖佐教授は「数理生物学は、生物学のさまざまな現象を数学モデルにし、それを調べることで理解する分野です。私は生態学や動物行動学から始めましたが、最近は発生での形作りや、生物時計、発がんなども扱っています。重要な賞を頂けたことを大変光栄に思います。物理学のように生物学でも、これから理論的研究が重要になっていくと期待しています」と話しました。

教育学部生約300人が
車いすバスケットボールを体験

教育学部の学生が5月21、23、25の3日間、西宮聖和キャンパスの体育館で、競技用車いすを使用してバスケットボールを体験しました。教育学部開講科目「体育」の一環で、全クラス合わせて約300人の学生が参加。車いすバスケットボールの第一人者であるNPO法人「パラキャン」(千葉県柏市)の諸隈有一代表や日本代表候補の北間優衣氏などを講師に招きました。



学生たちは、ルール説明やデモンストレーションを受けた後、実際

に競技を体験。最後に諸隈氏と北間氏を囲んで、小グループでの質疑応答を行いました。学生は授業を通して、種目の特性に応じた技術を学びながら、体育の楽しさを感じたり、車いす競技への理解を深めたりしました。

読者アンケート&プレゼント

関学ジャーナルのアンケートにご協力ください。ご協力いただいた方の中から抽選で5名様に「KGディズニーノート2冊」をプレゼントします。右記QRコードからアンケートにお答えください。締め切りは2018年9月14日(金)。当選は発送をもってかえさせていただきます。

※お寄せいただいた個人情報、はプレゼントの発送以外では利用いたしません。

関学ジャーナルへのご意見・ご感想はWEBでも受け付けています。▶関学ジャーナルご意見・ご感想フォーム URL→<http://www.kwansei.ac.jp/form/kgjm.html>



スマートフォン



パソコン URL ↓

<http://www.kwansei.ac.jp/r/kgjournal/>

政治リーダーとメディア



私に
一言
わせて!



社会学部教授
(メディア/コミュニケーション論)

阿部 潔

芸 能人やスポーツ選手だけでなく、首長や議員が、TwitterやFacebookを使い自らについて語ることが珍しくない。そのお陰で、一見すると政治は身近なものになったようだ。これまで、総理大臣はるか地方議員であっても、その「生の声」に触れることは極めて稀だった。だが今では、クリックひとつでフォローすれば、政治リーダーの動向を時時刻刻と知ることができる。新聞やテレビを通してどこか縁遠い存在だった政治家は、ネットでつながることでより身近に感じられる。無関心/無党派との言葉で語られがちな政治と人々との関係を踏まえれば、「身近に感じられる政治」にはおおいに意義があると言える。

ここでネットを駆使して有権者に伝えられる情報は、基本的に「都合のよい事実」だという点に注意が必要だ。商品を宣伝するメーカーや広告代理店と同様、政治家は自らのイメージを慎重に作り上げ、自身にとって利益となる情報やイメージをネットに広めようとする。それは時として、報道番組や新聞記事で取り沙汰されるネガティブなイメージとは異なり、庶民と同じような人間味や誠実さを感じさせるものかもしれない。そうしたイメージにネットで触れる機会が増え、これまで関心が無かった政治が人々に身近に感じられるならば、それは望ましいことと思われ。

だが、事態はそう単純ではない。なぜなら、リーダーを身近に感じられる(feel familiar)ことは、知るべき情報が人々に十分に与えられる(fully informed)状態を必ずしも意味しないからだ。むしろ、ジャーナリストによる批評や世論のまなざしに曝されることなく、一方的に好きなように持論を展開できるSNSは、政治家にとって己の立場を正当化するうえで恰好の道具となる。ネットユーザーたちは親しみを感じられる政治家に共感し、賛意を示す。と同時に、誰に頼まれるともなくSNSを介してリーダーの声を拡散することで、彼らにとって「都合のよい事実」の流布に加担している。

今後、特定の政治家の発信を契機に有権者との関係がさらに深まるならば、そこには危うさが見て取れる。なぜなら、夥しい数のツイート/フォローが交わされる割に、政治をめぐる多様な声は聴こえてこないからだ。本来デモクラシーとは、為政者にとって「都合の悪い事実」に民衆=デモスが厳しいまなざしを向けることから始まる。その緊張感、リーダー本人たちのネットでの“つぶやき”からは決して生まれない。SNS時代に求められるのは、親しげなリーダーを安易に追隨する(follow)ことなく、その実像を冷静に追い究める(investigate)私たちの姿勢ではないだろうか。



総合政策学部教授
(政策形成過程論、アメリカ政策研究、
メディア論)

小池 洋次

米 国を代表する新聞、ワシントン・ポストがトランプ政権の発足1周年に合わせて、驚くべき調査結果を報道しました。過去1年間の大統領発言を分析したところ、虚偽ないし誤解を招く内容が2140件あったということです。1日平均、約6件とは…。

もちろん、間違えとかミスというのは誰にでもあるでしょう。ただ、トランプ発言はそんな単純なものではありません。自分に有利な方向に誘導しようという意図がみえみえです。

一国の最高指導者が事実と反するような情報を流す、そうした情報を前提に政策を立案するなどということが、そもそも許されるのでしょうか。米国は世界最強の超大国であり、その影響は全世界に及ぶと言わざるを得ません。

ワシントン・ポストは今後も大統領の発言をチェックすると言っています。さすが、1970年代にニクソン政権の不正行為を暴露し、大統領を辞任に追い込んだ新聞です。

しかし、ネットの時代、権力者はSNSで直接、国民に訴えることができます。その影響は新聞やテレビより、はるかに大きい場合もあるのです。

なお厄介なのは、トランプ氏が若い頃からメディアをよく理解し、その活用法に長けていることです。テレビの人気番組のスターであったこともありました。彼にとって、自分への批判はむしろコストのかからない宣伝なのでしょう。支持者たちはワシントン・ポストなどのメディアを戦うべき「敵」とみなしているのが、トランプ氏は批判されればされるほど、支持者に「よくやっている」と評価されてしまうのです。

では、権力者を誰がどうチェックすればよいのでしょうか。新聞やテレビの役割は大きいとは思いますが、ネットの時代が到来し、その経営が揺らぎ始めているのも事実です。NPO形態での運営など新しいビジネス・モデルが求められているのではないのでしょうか。それを確立できるかどうかは、民主主義の根幹にかかわる大問題だと思います。

社会で話題になっているテーマに対して、教職員の考えを聞きました。



元気で活力があるベトナム人 その要因の一つは自尊心



↑ホーチミン市庁舎

2013年から新卒でベトナムに勤務し、現在は人材紹介会社を営んでいます。主に企業への人事サポートと、ベトナム人・日本人の就職サポートをしています。

学生時代、入学当初は無気力で成績はずっと下の方でした。そんな僕にも、転機がありました。一つは、1年生後半から立ち上げた留学生との交流サークルです。開学には

何十カ国もの外国人留学生在がいるので、そこでの強烈な出会いから海外就職に興味を持ちました。二つ目は開学OBのゲストスピーカーが話をする授業でした。そこで出会ったベトナム在住の経営者の下、インターシップ生として現地で働かせていただいたのが現在ベトナムにいる理由です。この二つの開学での学びは大変有意義でした。

発展途上国ベトナムに長らく住むことで、日本と大きく異なる点に気付きました。それは経済格差ではなく、人々の活気です。日本では悲壮感のある人を見る時がありますが、ベトナムには元気で活力のある人が多いです。

なぜでしょうか？ 要因の一つは自尊心だと考えています。ありのままの自分を受け入れて肯定する力とも言えます。ベトナムの人はその肯定力が強いのです。民族としての誇り、許し合う寛容さ、同調圧力に屈しない主体性などいろいろな理由がありますが、どの要素も生きる上で大事です。

学生生活においても自己肯定力があれば、プライベートも勉強も前向きになります。しかしベトナムのような自尊心が高まる環境でなくとも、自尊心は、やるべき、と思う事に、諦めずに挑戦し続けることで大きくなります。諦めないためには強い動機が必要ですが、目標さえ見誤らなければ、誰もが自尊心を高められます。かく言う私も日々負けそうになりながらも頑張っています。

以上、自尊心について考えるきっかけとなりましたら幸いです。ベトナム旅行もぜひ！

協定校紹介

商業大学 Thuongmai University

急速に経済成長を遂げているベトナムは15歳～49歳が全労働人口の74%を占める若い国で、日本企業の進出も盛んです。首都ハノイ市にある商業大学は1960年の創立後、経済・商学分野では常にトップクラスにランクされ、経済界に優秀な人材を輩出しています。

関西学院大学は1997年3月に学生交換協定締結後、交換留学制度を利用して、今日までに30人以上の学生を交換してきました。それ以外に、開発途上国の現場における導入的学びを身に付けながら、経済・歴史・宗教・文化等の現場について理解を深められる海外フィールドワークや、ベトナムで働く日本人の姿を見たり、日系企業の在り方を実際に経験したりできる短期海外インターンシップなども実施しています。

同大学からは現在、大学院外国人留学生海外推薦入学制度を通じて、2人の学生を経営戦略研究科に受け入れています。





大学図書館ホームページでは、WEBデータベースや図書館活用術など、幅広い情報を分かりやすく紹介しています。教職員の最新情報も随時更新。「関西学院大学図書館」で検索！

大学図書館の旬な情報をお届け

Libraring

1万タイトル以上のDVDを活用しよう!!

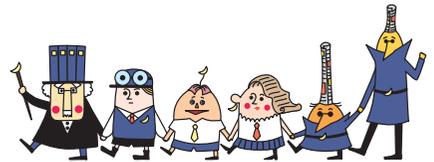
大学図書館には、本や雑誌のほかに映画DVD、音楽CDなどの視聴覚資料があります。各キャンパスの以下の場所で作品を鑑賞することができます。個人のCDやDVDを持ち込んでの利用もできます。

また、外国語の映画なら、楽しみながら語学学習にも役立てることもできますよ。ぜひ、勉強の合間に、DVDを活用してみたいかがでしょうか!?



場所

- ▶ 西宮上ヶ原キャンパス大学図書館 / 2階視聴覚資料利用コーナー
- ▶ 神戸三田キャンパス図書メディア館 / 2階視聴覚コーナー
- ▶ 西宮聖和キャンパス図書館 / 4階視聴覚室



教職員の新刊

「眼」から「薔薇」へ
F.H.ブラッドリー哲学から読み解く
T.S.エリオットの自意識の変容

岡田弥生社会学部教授著
関西学院大学出版会

内部統制と会社役員の法的責任

伊勢田道仁法学部教授著
中央経済社

環境リスク規制の比較政治学

日本とEUにおける化学物質政策
早川有紀法学部助教授著
ミネルヴァ書房

関西経済の構造分析

豊原法彦経済学部教授編著
中央経済社

少子高齢社会における
社会政策のあり方を考える

安岡匡也経済学部教授著
関西学院大学出版会

株価の情報反映メカニズム

マスメディアと企業情報の効果
阿萬弘行商学部教授著
中央経済社

科学としてのメンタルトレーニング

笹場育子人間福祉学部専任講師著
ナカニシヤ出版

誤解された大統領

フーヴァーと総合安全保障構想
井口治夫国際学部教授著
名古屋大学出版会

現代中国の会計法規範と戦略

和して同せず
王昱国際学部教授著
同文館出版

インターネット、7つの疑問

数理から理解するその仕組み
大崎博之理工学部教授著
共立出版

田村直臣のキリスト教教育論

小兒のぞみ聖和短期大学教授著
教文館

空間と時間の教育史

アメリカの学校建築と授業時間割からみる



近代社会では空間や時間がきちんと秩序づけられており、私たちは無意識のうちに、空間や時間を、遊び、学習、仕事などと明確に区別して、能率的に組み立てています。秩序を具体的に示しているのが、学校の校舎と時間割で、それは、しばしば教師の絶大な権威を象徴しています。20世紀の学校改革は子ども中心という理念を掲げましたが、この秩序と教師の権威を变革することができたのでしょうか。本書では、アメリカの学校建築と時間割を取り上げて検証します。

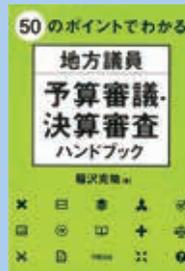
宮本健市郎・教育学部教授著 300ページ 東信堂



50のポイントでわかる

地方議員 予算審議・決算審査ハンドブック

私たちの住む市や町、県の予算書・決算書を見たことがありますか。膨大な数値の並ぶ分厚い書類ですが、私たちにとはとても大切な書類です。予算書にはこれから1年間の、決算書にはこれまで1年間の暮らしが描かれているのです。この本では、予算と決算を議決する地方議員が、その内容を十分に審議できるよう、その読み方を分かりやすく説明しています。議員だけでなく、皆さんにとっても地方自治体の行財政が理解できる基本書です。



稲沢克祐・経営戦略研究科教授著 238ページ 学陽書房

心の貧しい人々は、幸いである。
天の国はその人たちのものである。

マタイによる福音書 5章3節

一般的に「心が貧しい」という表現は、「度量が小さくケチケチしている」という否定的な意味で用いられま
す。しかし、このイエス・キリス
トの言葉で「幸い」とされる
「心の貧しい人」とは、そう
いう人のことではありません
ん。これは、新約聖書の言語
であるギリシア語で、「自分
を過信して傲慢にならない、
打ち砕かれた謙遜な心をも
つ人」を意味し、「自分の貧
しさを知る人」(フランシスコ
会訳聖書)とも訳されます。
「自分の貧しさ」とは、自
分の弱さや限界のことです。
理想通りになれない自分。
過去の過ちや痛みに苦
しむ自分。光だけでなく闇
を抱えた自分。それらすべて
が「自分の貧しさ」です。イエ
スは宣言します。「そういう
自分の貧しさを知る人は幸
いだ」と。ごまかさず、目を
そらさず、自分と向き合い、
自分を知る人は幸せだとい
うのです。
真の自分の姿から目を背
け、そこから逃げ続ける人
生に成長はありません。また、
自分の弱さをただ嘆き、裁
くだけなら、そこから前進で
きません。「これ以上でもこ
れ以下でもない自分」をま
ずは受け入れること、そこか
らこそ自分を超越するものへ
の信頼が育まれ、他者と協
力し合うことの大切さを学
び、自分がなすべき課題に誠
実に取り組んでいけるはずで
す。イエスの言葉は、そのよ
うな希望の道へと私たちを
招いています。

編集後記

気が付けば7月、定期試験が終
われば夏休みですね。皆さんは、
夏休みの予定は決まっています
か？取材した学生に聞くと、「一
カ月半ほどインターシップに行
きます」とのこと。素晴らしい
…。やりたいことは全部やるこ
という好奇心旺盛型もよし、「これ
だけはやる」という一本集中型も
よし。すてきな夏を！(りよ)

関西学院大学
Facebook



関西学院大学の身近なニュース、キャンパス風景、
動画などを紹介。英語版ページもますます充実。「いい
ね!」をして関西学院大学の情報をゲットしよう。



日本語版



英語版



関西学院大学
Instagram



関西学院大学のキャンパスや授業風景、学生
の活動の様子など、さまざまな瞬間を写真や動画
で紹介！友達が出ているかも。



竹中工務店は「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」という経営理念のもと、
手がける建築の一つひとつを丹精込めてつくってきました。
これからも人々が安全に安心して暮らすための
「まちづくり」にグループの総力で貢献することによって、
サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。



想いをかたちに 未来へつなぐ

 **TAKENAKA**